

2015年度（16年3月期） 第3四半期 決算概要

2016年1月28日

日本電気株式会社

(<http://jpn.nec.com/ir>)

目次

I.第3四半期 決算概要

II.業績予想

第3四半期 決算概要（補足）

業績予想（補足）

参考資料（業績データ）

※ 15年度実績/予想の「当期純利益」は、親会社株主に帰属する当期純利益の金額を表示

I .第3四半期 決算概要

(億円)

	第3四半期 <10~12月>			第3四半期累計期間 <9カ月>		
	14年度 実績	15年度 実績	前年 同期比	14年度 実績	15年度 実績	前年 同期比
売上高	6,772	6,410	△ 5.4%	20,020	19,491	△ 2.6%
営業利益	141	49	△ 92	356	183	△ 174
対売上高比率 (%)	2.1%	0.8%		1.8%	0.9%	
経常利益	197	38	△ 158	364	152	△ 211
対売上高比率 (%)	2.9%	0.6%		1.8%	0.8%	
当期純利益	103	1	△ 102	228	3	△ 224
対売上高比率 (%)	1.5%	0.0%		1.1%	0.0%	

フリー・キャッシュ・フロー	△ 624	△ 584	+ 40	△ 757	△ 490	+ 267
---------------	-------	-------	------	-------	-------	-------

参考：売上平均為替レート (円)	1 ドル	110.42	120.96
	1 ユーロ	140.08	133.82

	104.97	121.53
	139.65	134.14

セグメント別 第3四半期実績サマリー

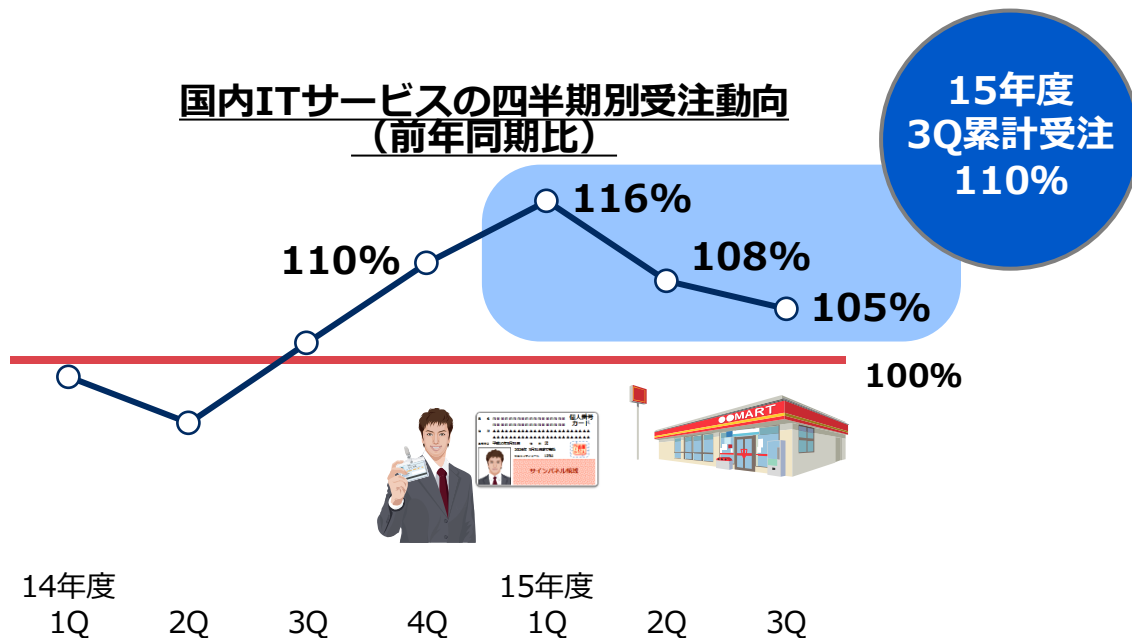
第3四半期
(3カ月/9カ月)

(億円)

			第3四半期 <10~12月>			第3四半期累計期間 <9カ月>		
			14年度 実績	15年度 実績	前年 同期比	14年度 実績	15年度 実績	前年 同期比
パブリック	売上高	1,814	1,610	△ 11.3%	5,259	4,956	△ 5.8%	
	営業利益	158	99	△ 60	377	224	△ 153	
	営業利益率 (%)	8.7%	6.1%		7.2%	4.5%		
エンタープライズ	売上高	612	711	+ 16.2%	1,879	2,177	+ 15.9%	
	営業利益	5	36	+ 31	28	126	+ 98	
	営業利益率 (%)	0.9%	5.1%		1.5%	5.8%		
テレコムキャリア	売上高	1,708	1,592	△ 6.8%	5,033	4,867	△ 3.3%	
	営業利益	88	61	△ 26	254	164	△ 90	
	営業利益率 (%)	5.1%	3.9%		5.0%	3.4%		
システム プラットフォーム	売上高	1,705	1,709	+ 0.3%	5,159	5,187	+ 0.6%	
	営業利益	44	24	△ 20	131	131	+ 0	
	営業利益率 (%)	2.6%	1.4%		2.5%	2.5%		
その他	売上高	933	787	△ 15.6%	2,691	2,303	△ 14.4%	
	営業損益	△ 31	△ 69	△ 37	△ 59	△ 112	△ 54	
	営業利益率 (%)	-3.4%	-8.7%		-2.2%	-4.9%		
消去・配賦不能		△ 123	△ 103	+ 20	△ 375	△ 351	+ 24	
合 計	売上高	6,772	6,410	△ 5.4%	20,020	19,491	△ 2.6%	
	営業利益	141	49	△ 92	356	183	△ 174	
	営業利益率 (%)	2.1%	0.8%		1.8%	0.9%		

足もとの国内IT投資（サービス/ハードウェア）の受注は好調を継続

国内ITサービスは14年度4Q以降、流通・サービス業や公共を中心に好調



マイナンバー関連事業の状況

15年度年間の受注高、売上高の目標を上方修正

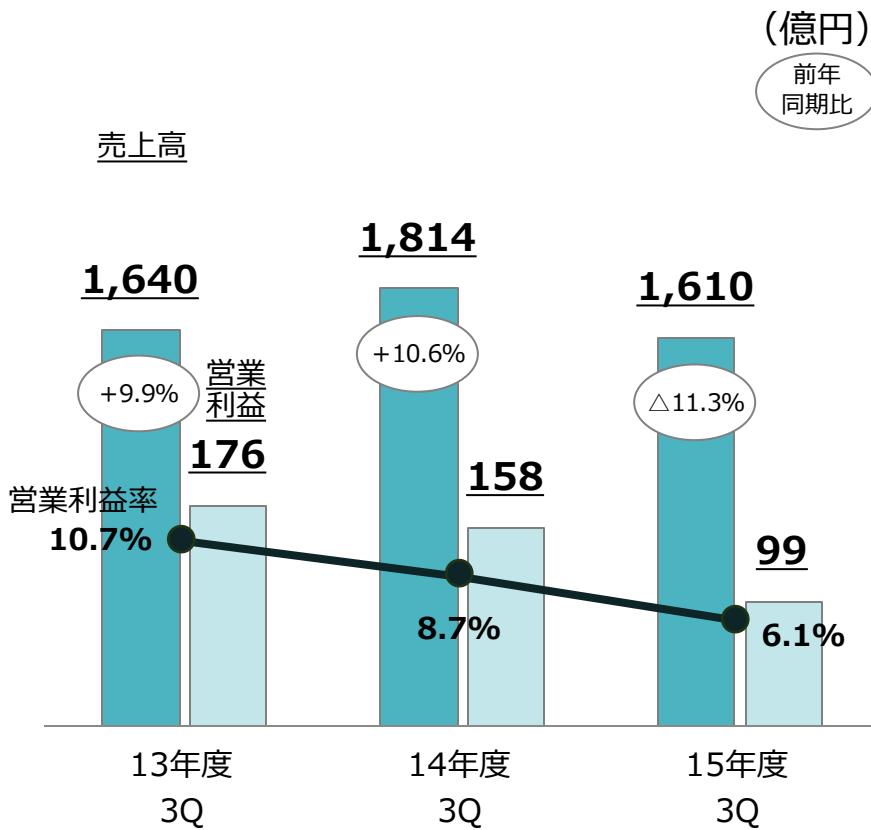
3Q累計（9カ月）の受注高は260億円、売上高は150億円と好調に推移

マイナンバー関連の受注高・売上高

(億円)



※ 予想値は、2016年1月28日現在



売上高 1,610億円 (△11.3%)

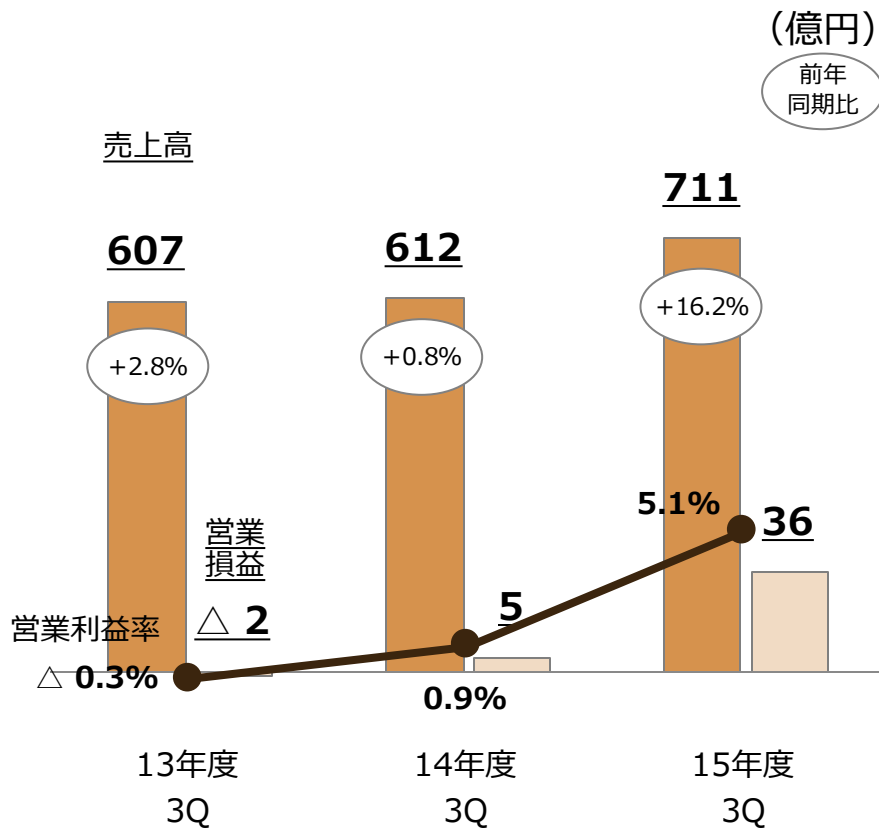
- 前年同期にあった大型案件の売上が減少したことなどにより官公向けを中心に減少

営業利益 99億円 (△60億円)

- 売上減などにより減益



※ カッコ内の%は前年同期比



売上高 **711億円 (+16.2%)**

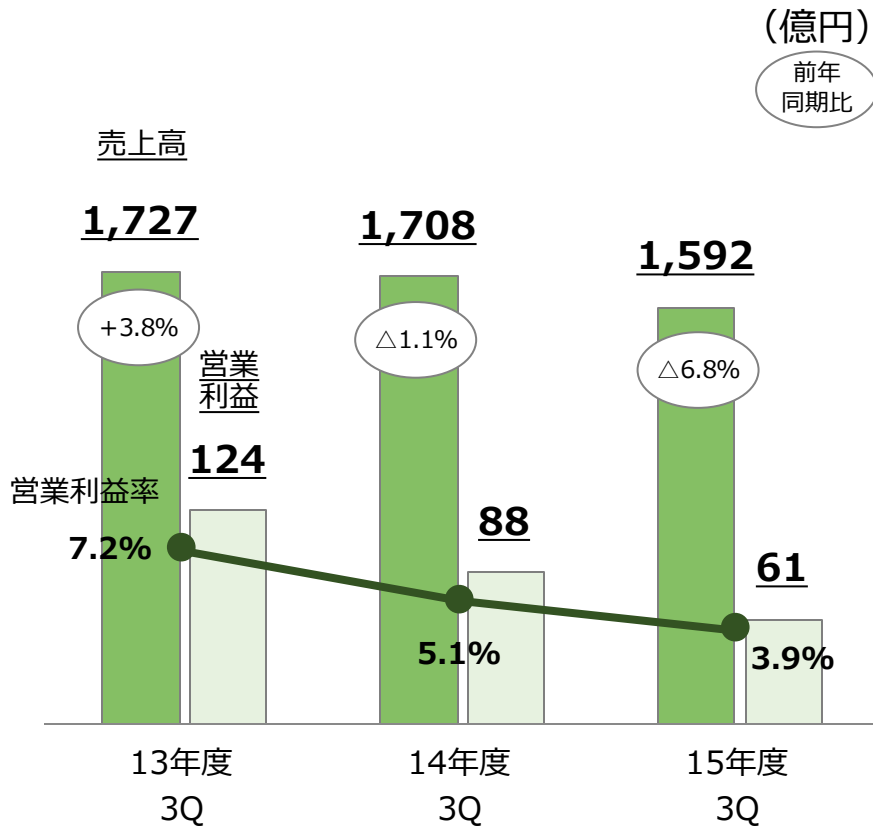
- 流通・サービス業向け、製造業向けで共に大型案件があったことなどにより増加

営業損益 **36億円 (+31億円)**

- 売上増に加え、システム構築サービスの収益性改善などにより増益



※ カッコ内の%は前年同期比



売上高 1,592億円 (△6.8%)

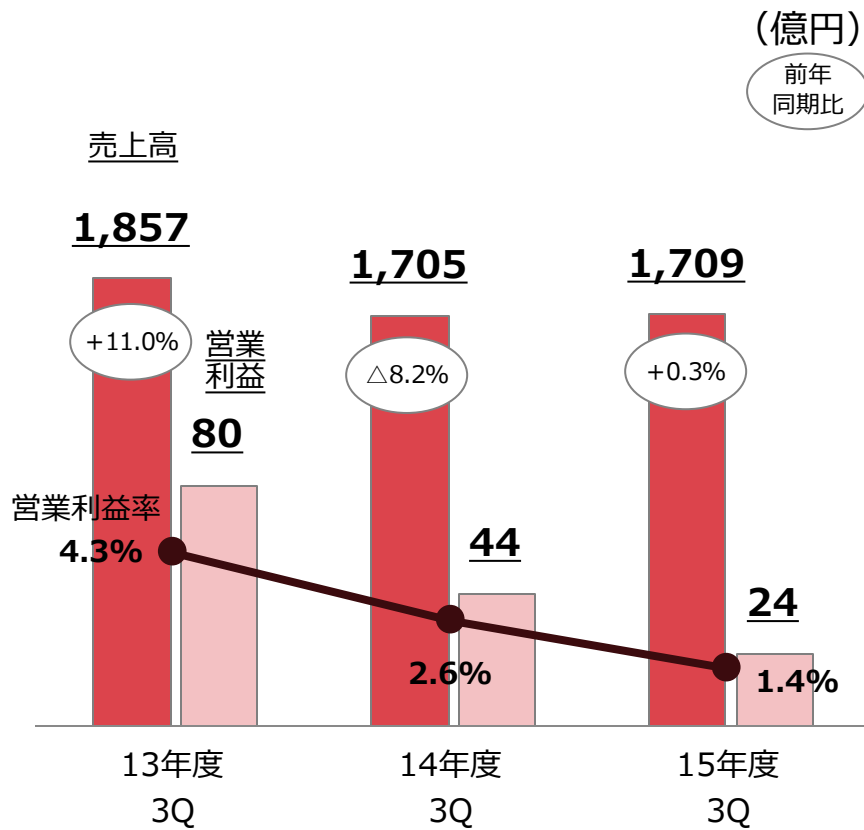
- 国内事業は減少
- 海外事業は海洋システムを中心に増加

営業利益 61億円 (△26億円)

- 売上減などにより減益



※ カッコ内の%は前年同期比



売上高 1,709億円 (+0.3%)

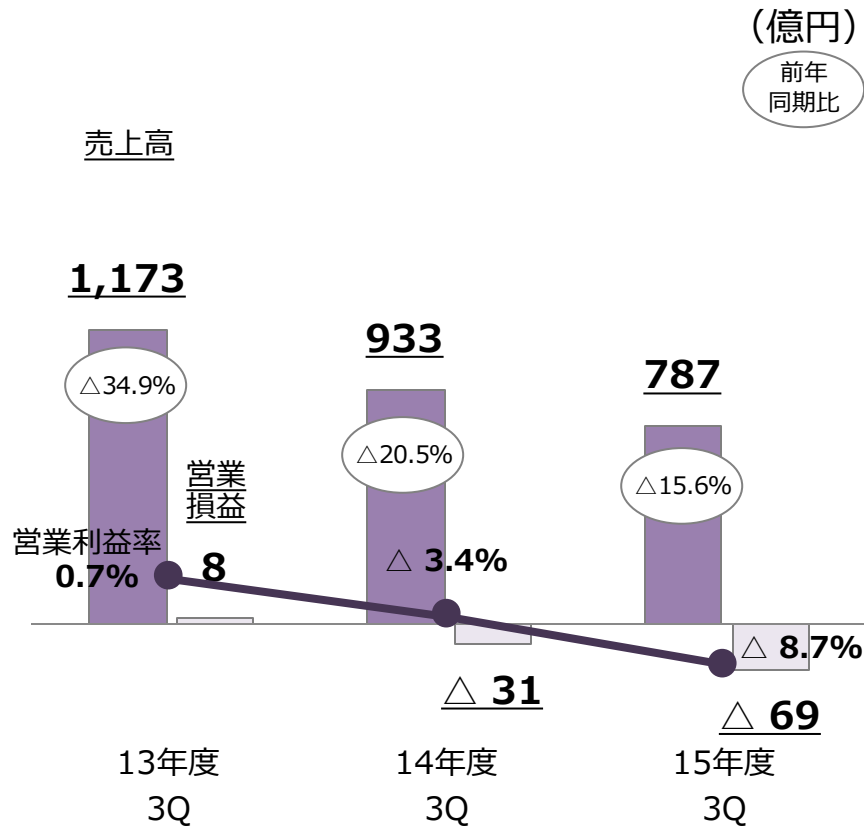
- ハードウェアが堅調に推移したことにより
微増

営業利益 24億円 (△20億円)

- プロジェクトミックスの悪化などにより
減益



※ カッコ内の%は前年同期比



売上高 **787億円** (△15.6%)

- 物流サービス事業の非連結化の影響やエネルギー事業、携帯電話端末事業の減少などにより減収

営業損失 **△69億円** (△37億円)

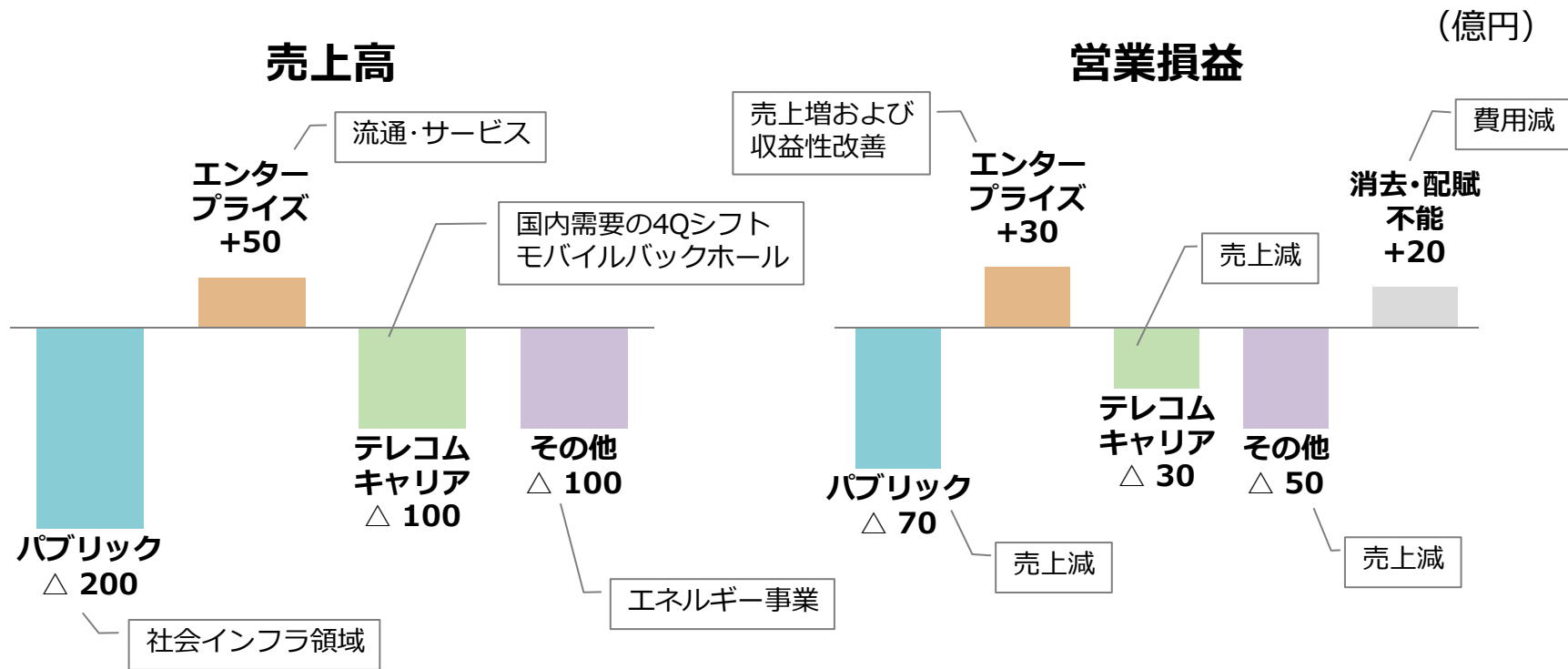
- エネルギー事業の売上減などにより減益



※ カッコ内の%は前年同期比

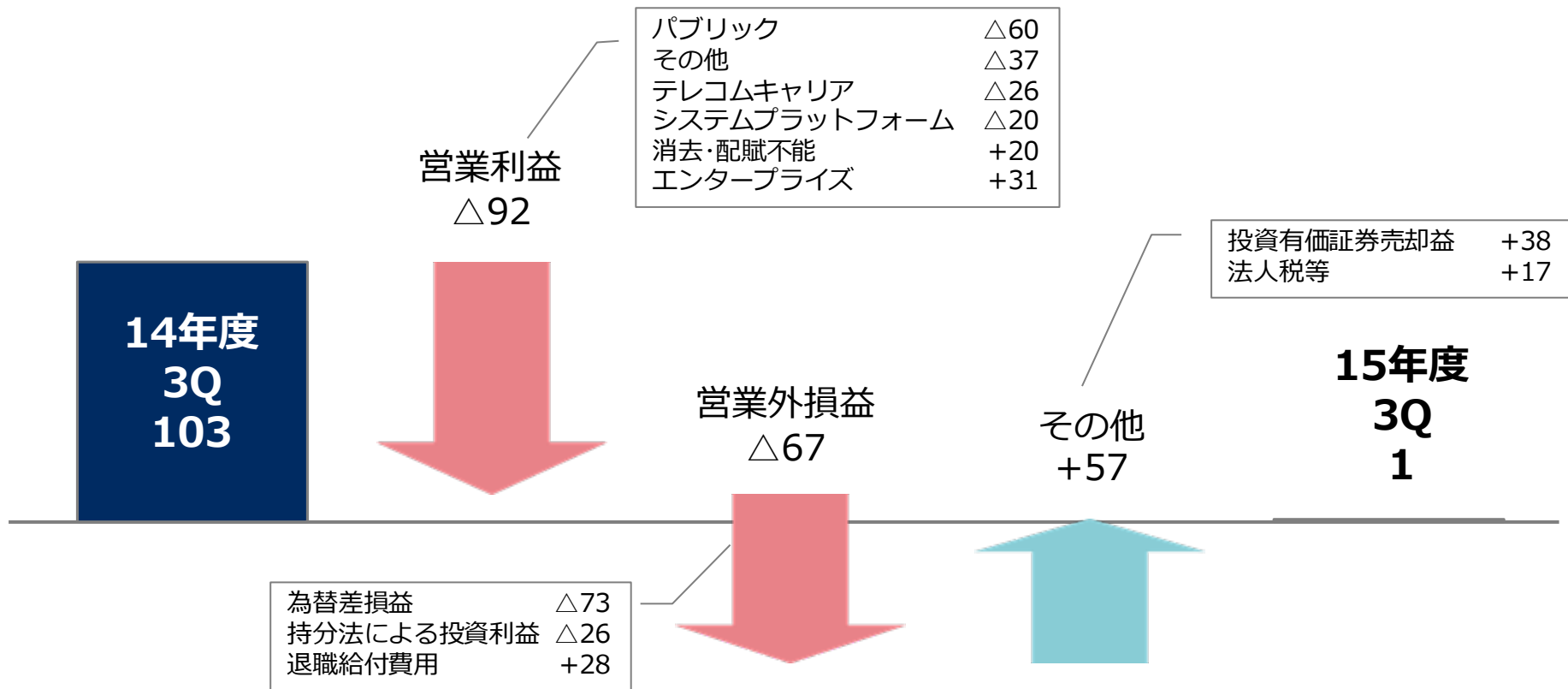
セグメント別 3Q計画値との差異

エンタープライズが好調も、パブリック、テレコムキャリアなどが未達



※ 計画値は、2015年10月29日時点での3Q見通し

(億円)



Ⅱ.業績予想

(億円)

	通期		
	14年度 実績	15年度 予想	前年度比
売上高	29,355	31,000	+ 5.6%
営業利益	1,281	1,350	+ 69
対売上高比率 (%)	4.4%	4.4%	
経常利益	1,121	1,200	+ 79
対売上高比率 (%)	3.8%	3.9%	
当期純利益	573	650	+ 77
対売上高比率 (%)	2.0%	2.1%	

フリー・キャッシュ・フロー	404	800	+ 396
---------------	-----	-----	-------

参考：15年度4Qの為替レート前提 1ドル=115円、1ユーロ=130円

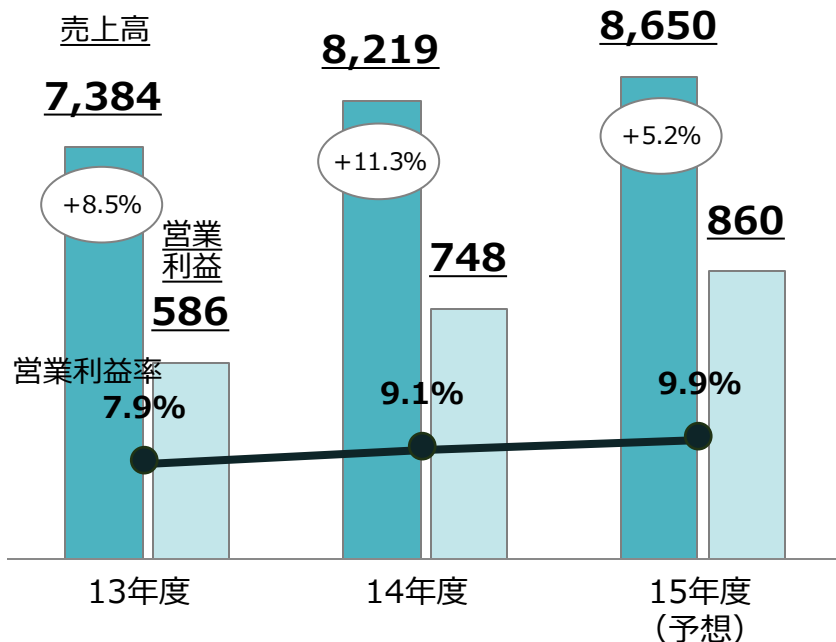
(億円)

		通期			
		14年度 実績	15年度 予想	前年度比	
パブリック	売上高	8,219	8,650	+ 5.2%	
	営業利益	748	860	+ 112	
	営業利益率 (%)	9.1%	9.9%		
エンタープライズ	売上高	2,705	2,900	+ 7.2%	
	営業利益	83	110	+ 27	
	営業利益率 (%)	3.1%	3.8%		
テレコムキャリア	売上高	7,402	7,800	+ 5.4%	
	営業利益	620	640	+ 20	
	営業利益率 (%)	8.4%	8.2%		
システム プラットフォーム	売上高	7,289	7,600	+ 4.3%	
	営業利益	314	330	+ 16	
	営業利益率 (%)	4.3%	4.3%		
その他	売上高	3,741	4,050	+ 8.2%	
	営業利益	40	40	+ 0	
	営業利益率 (%)	1.1%	1.0%		
消去・配賦不能		営業損益	△ 524	△ 630	△ 106
合計		売上高	29,355	31,000	+ 5.6%
		営業利益	1,281	1,350	+ 69
		営業利益率 (%)	4.4%	4.4%	

※ 予想値は、2016年1月28日現在（2015年10月29日の前回予想から変更ありません）

(億円)

前年度比



売上高 8,650億円 (+5.2%)

- 公共向けを中心に増加を計画

営業利益 860億円 (+112億円)

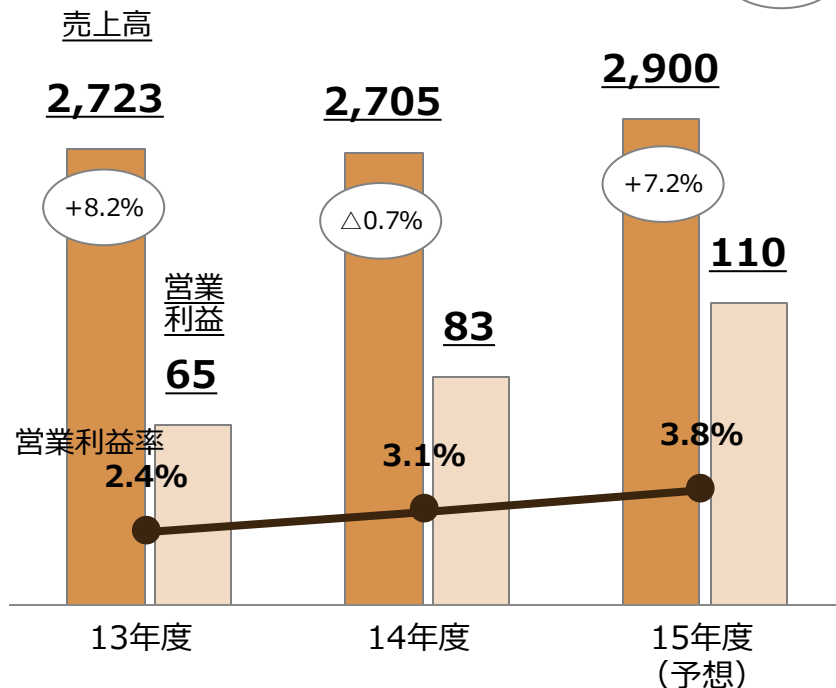
- 売上増、原価低減、不採算案件の減などにより増益を計画



※ 予想値は、2016年1月28日現在、カッコ内の%は前年度比

(億円)

前年度比



売上高 **2,900億円 (+7.2%)**

- 流通・サービス業向け、製造業向けともに増加を計画

営業利益 **110億円 (+27億円)**

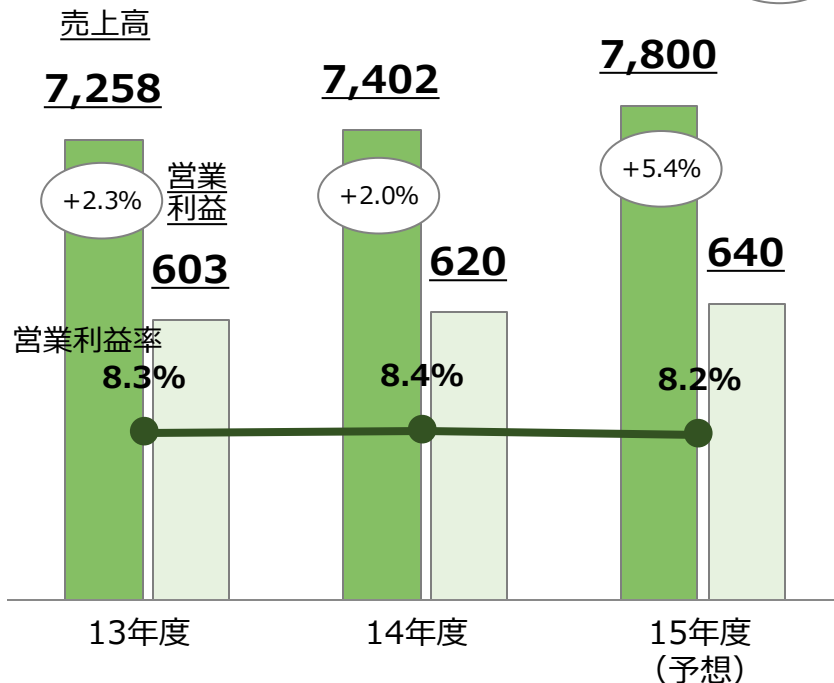
- 売上増に加え、システム構築サービスの収益性改善などにより増益を計画



※ 予想値は、2016年1月28日現在、カッコ内の%は前年度比

(億円)

前年度比



売上高 **7,800億円 (+5.4%)**

- 国内は微減を計画
- 海外は海洋システム、モバイルバックホール、TOMSなどで増加を計画

営業利益 **640億円 (+20億円)**

- 海外を中心とした売上増により増益を計画

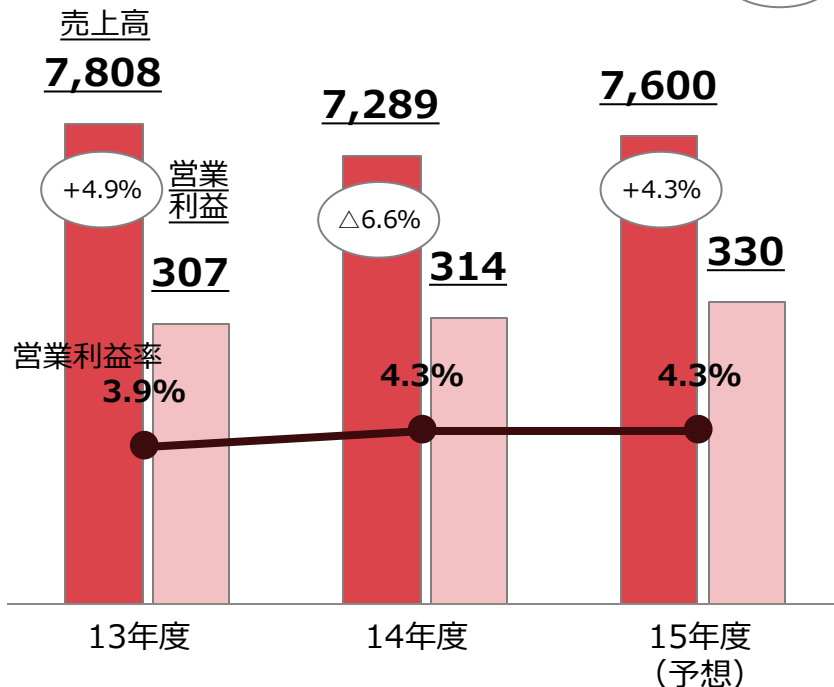
※ TOMS : Telecom Operations & Management Solutions



※ 予想値は、2016年1月28日現在、カッコ内の%は前年度比

(億円)

前年度比



売上高 7,600億円 (+4.3%)

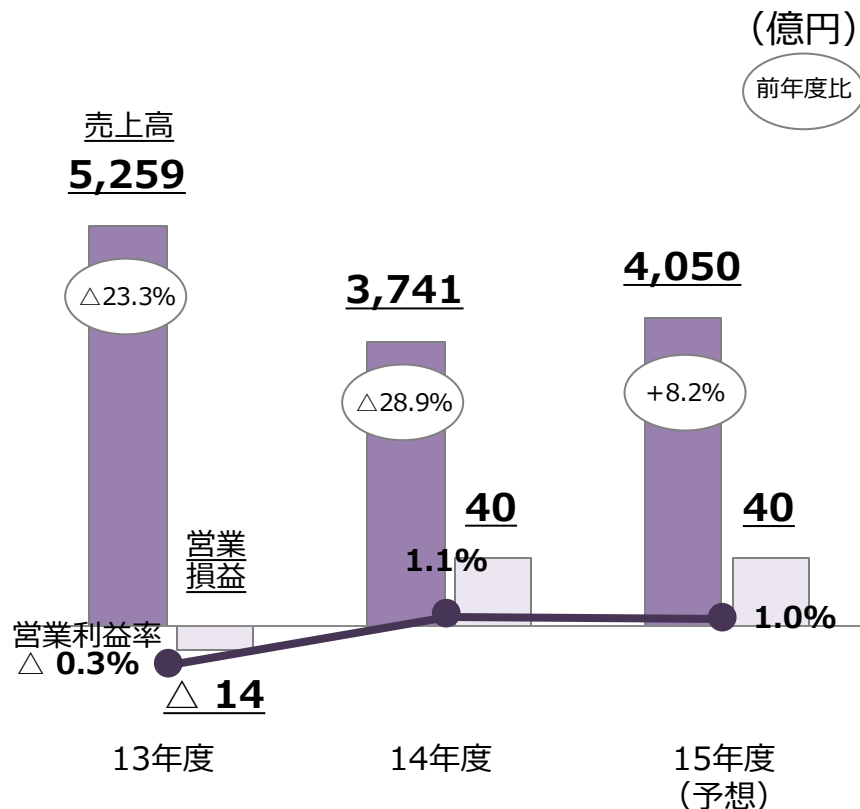
- サーバやネットワーク、ソフトウェアなどのソリューションプラットフォームを中心に増加を計画

営業利益 330億円 (+16億円)

- 売上増や更なる原価低減により増益を計画



※ 予想値は、2016年1月28日現在、カッコ内の%は前年度比



売上高 **4,050億円 (+8.2%)**

- 携帯電話端末事業が減少も海外事業などの増加を計画

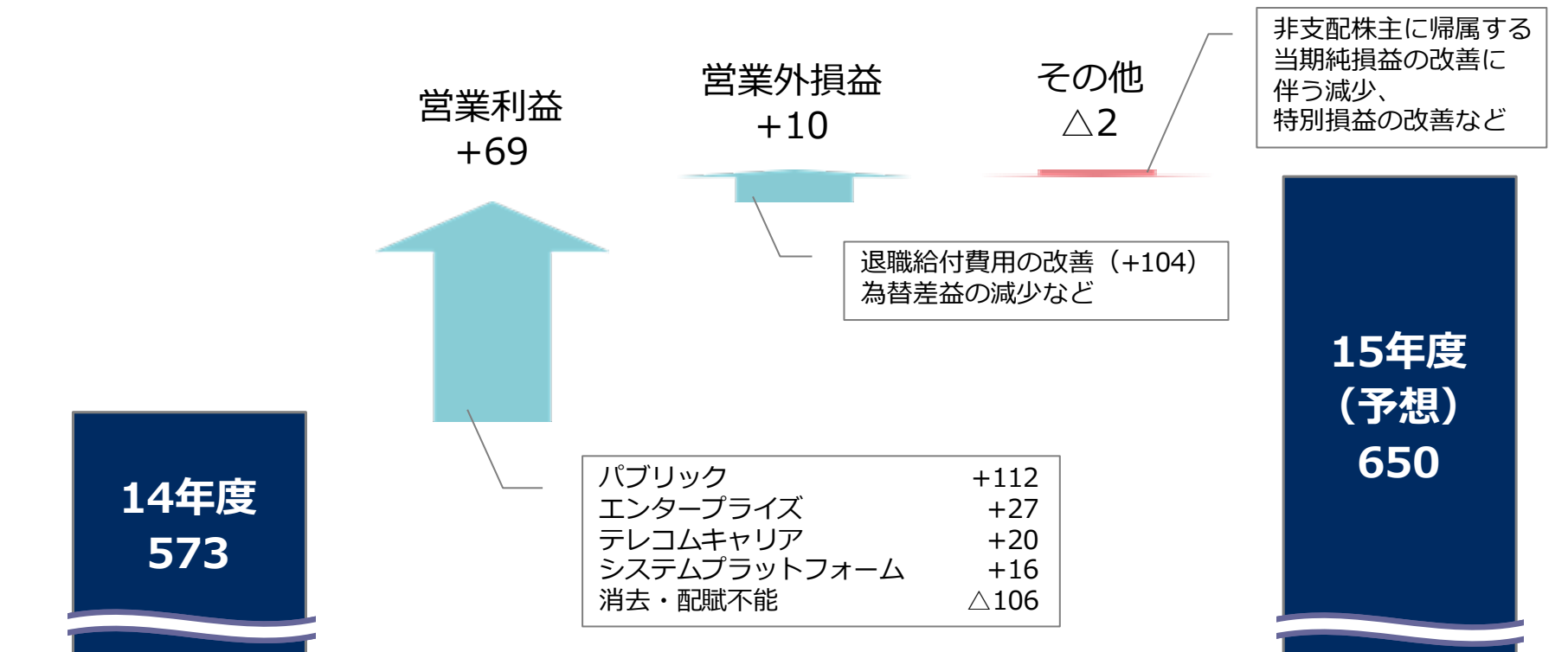
営業損益 **40億円 (±0億円)**

- 売上増や費用効率化で損益が改善するものの前年にあった知財関連の一過性の利益計上の影響などにより前年並みを計画



※ 予想値は、2016年1月28日現在、カッコ内の%は前年度比

(億円)



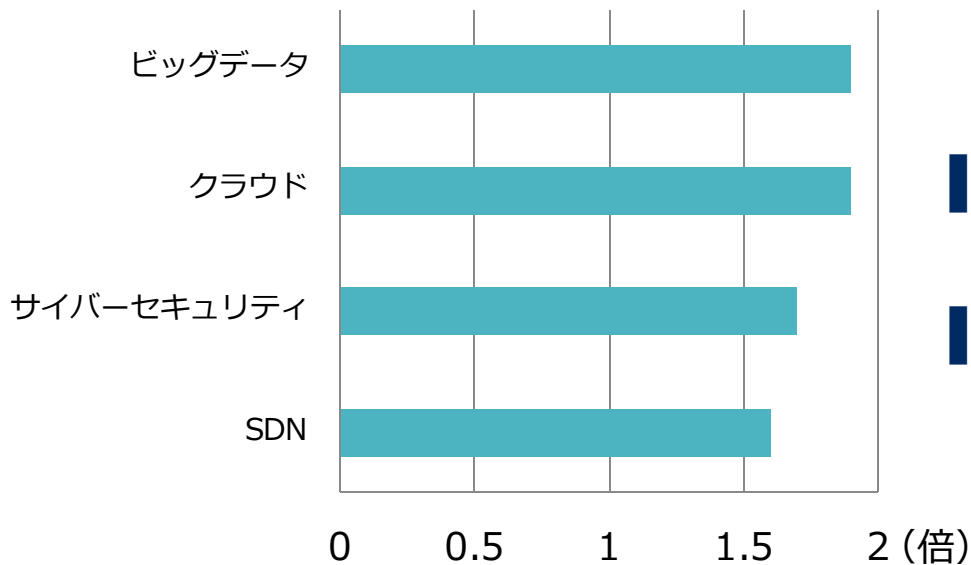
※ 予想値は、2016年1月28日現在

注力領域の3Q累計（9カ月）売上高は、前年同期比で1.2倍と拡大

～全社売上高に占める割合は、10%強から15%弱に拡大～

※ 注力領域には、TOMS、セーフティなども含む

主な領域の3Q累計売上高（前年同期比）



※ SDN : Software-Defined Networking

SDN

- グローバルキャリアへの実証実験件数は拡大中
- 山手線エリア内の全36駅においてSDNを活用した駅構内共通ネットワークを納入

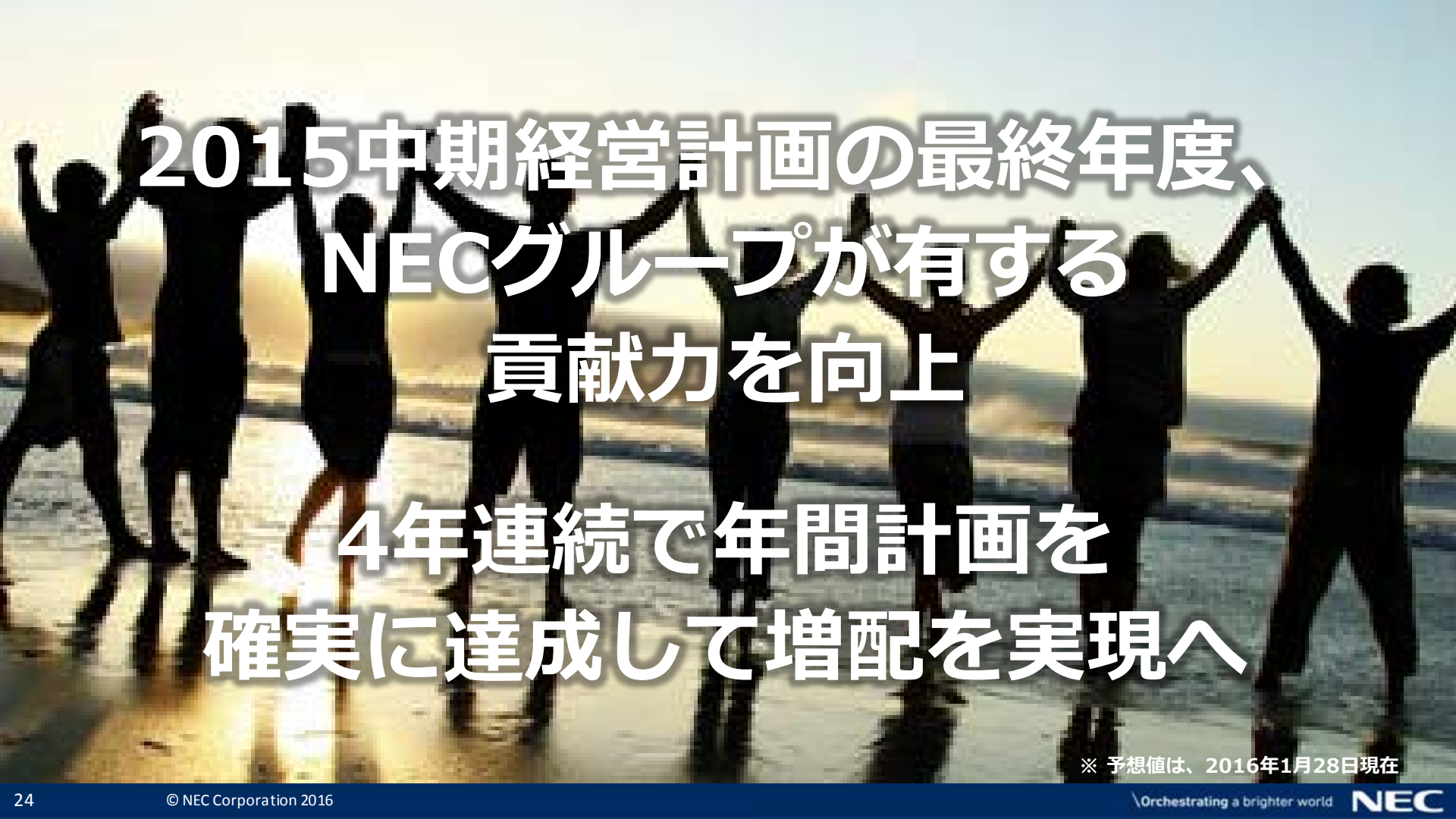
クラウド

- AOKIが大規模基幹システムを刷新

セーフティ/サイバーセキュリティ

- 「サイバーセキュリティ・ファクトリー」をシンガポールに開設



A group of people are silhouetted against a bright sunset over a beach. They are holding hands and raising their arms in a celebratory gesture. The scene is filled with a warm, golden light from the setting sun.

**2015中期経営計画の最終年度、
NECグループが有する
貢献力を向上**

**4年連続で年間計画を
確実に達成して増配を実現へ**

※ 予想値は、2016年1月28日現在

\Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ

類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、

世界の国々や地域の人々と協奏しながら、

明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

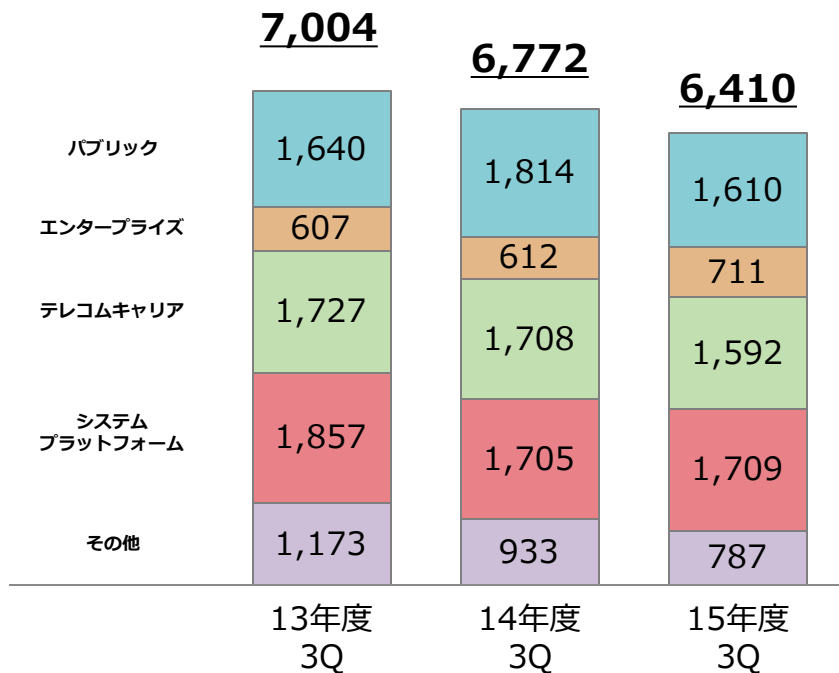
 **Orchestrating** a brighter world

NEC

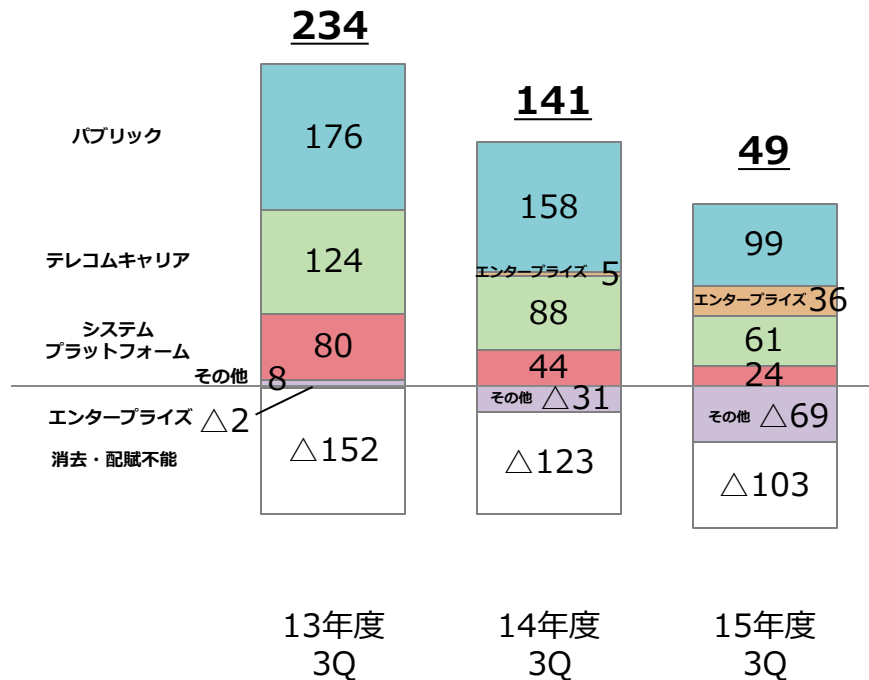
第3四半期 決算概要（補足）

(億円)

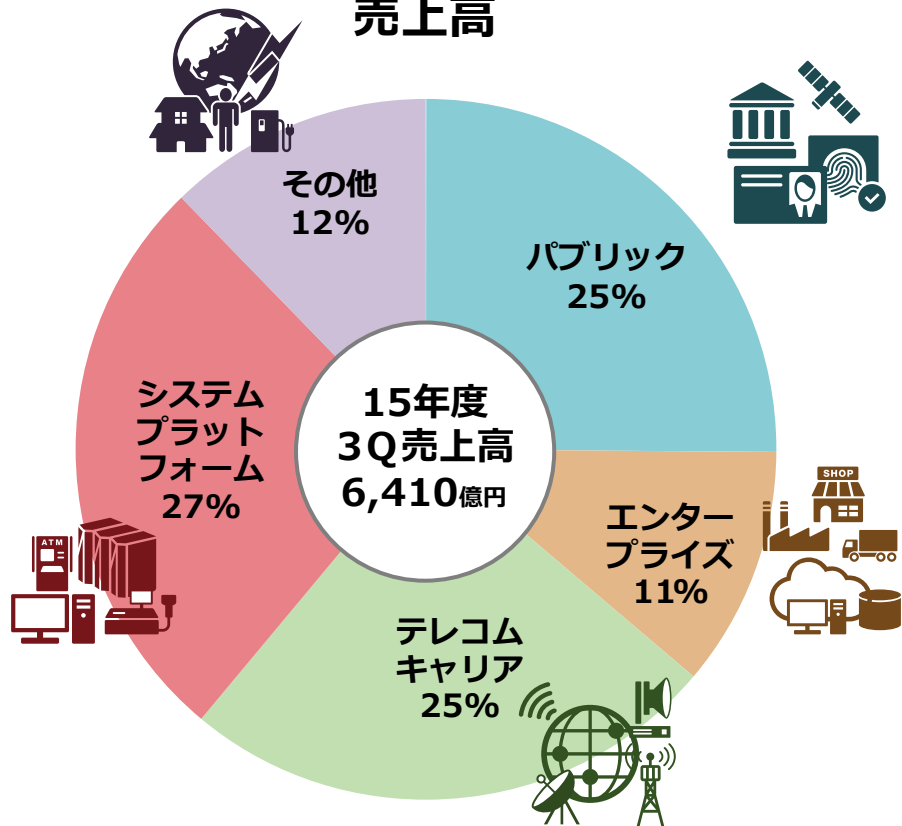
売上高



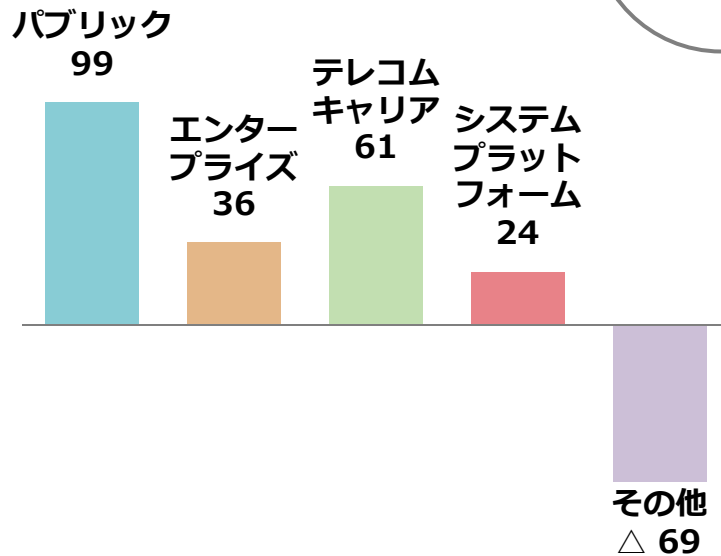
営業損益



売上高



営業損益



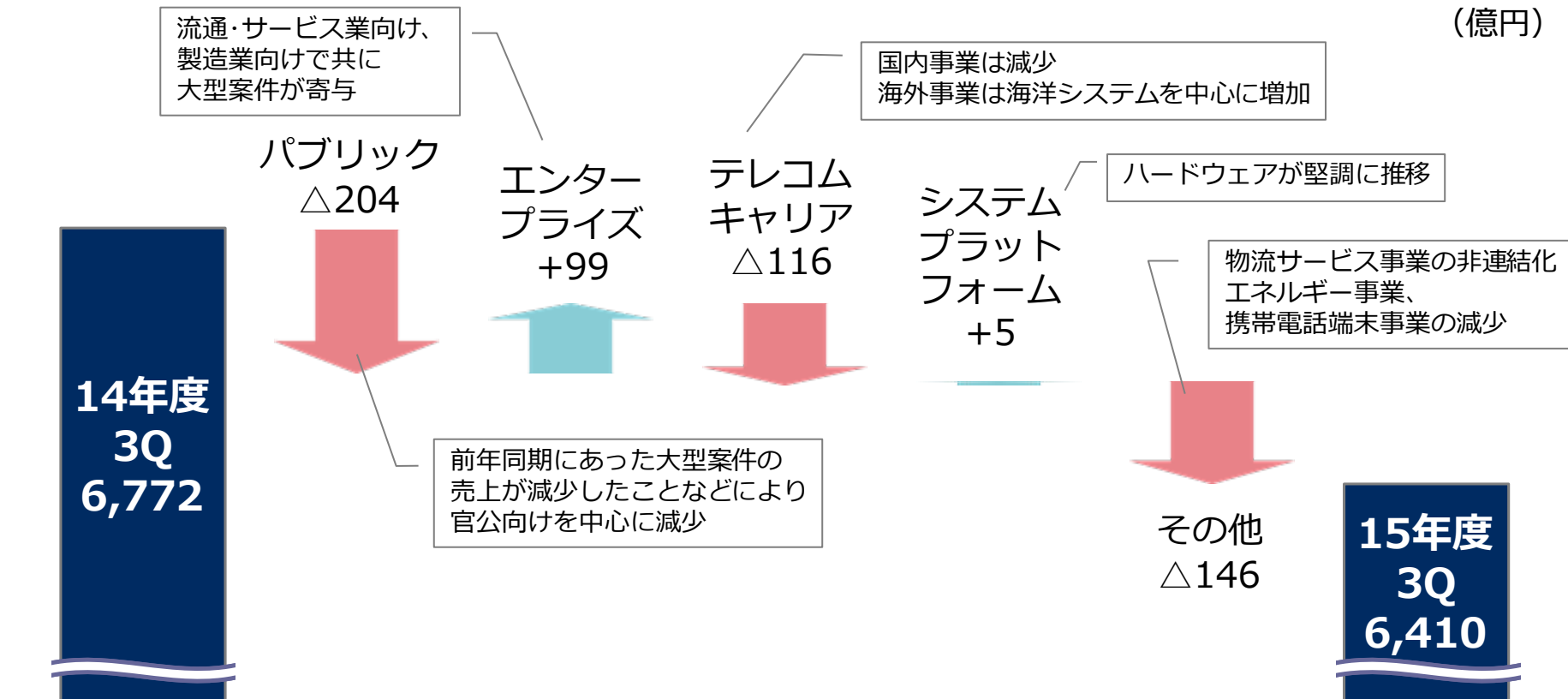
(億円)

15年度
3Q営業利益
49億円

売上高増減（前年同期比）

第3四半期
(3カ月)

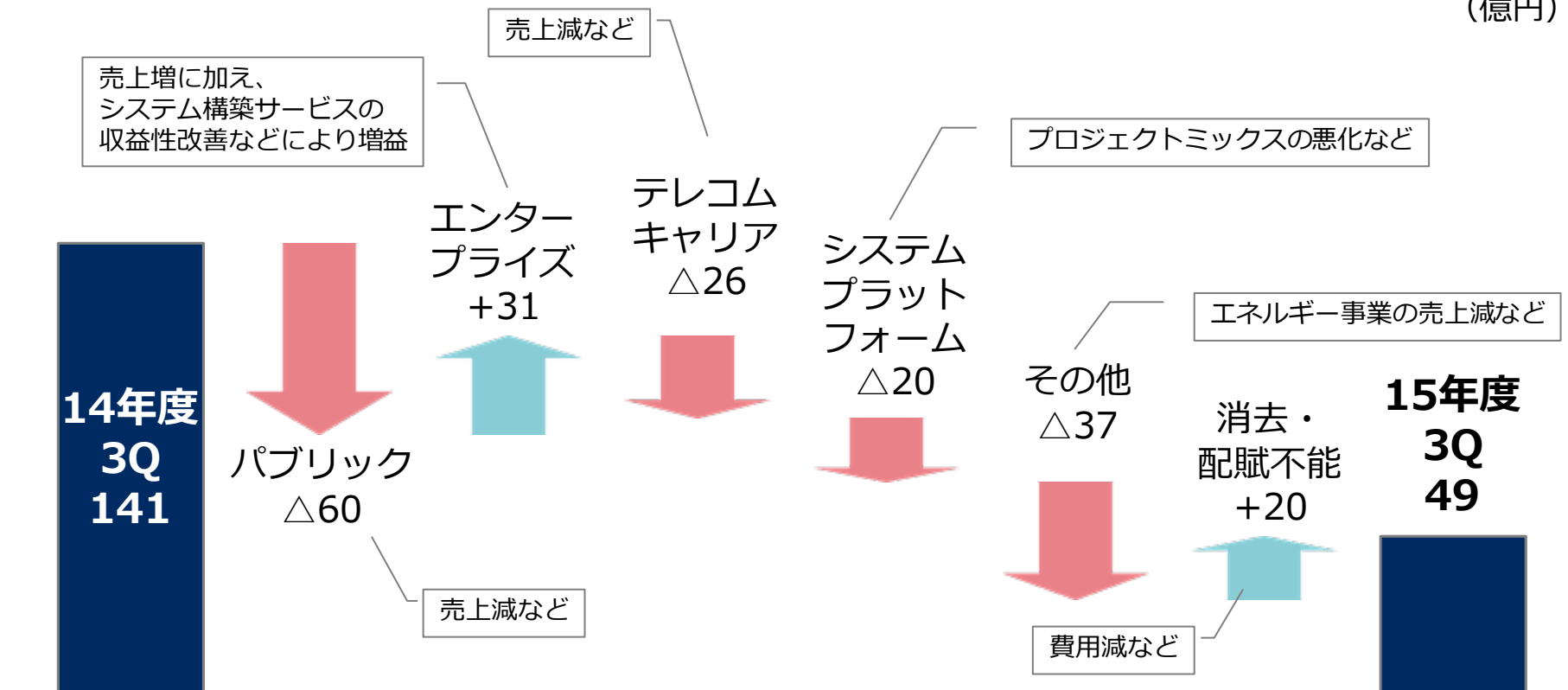
(億円)



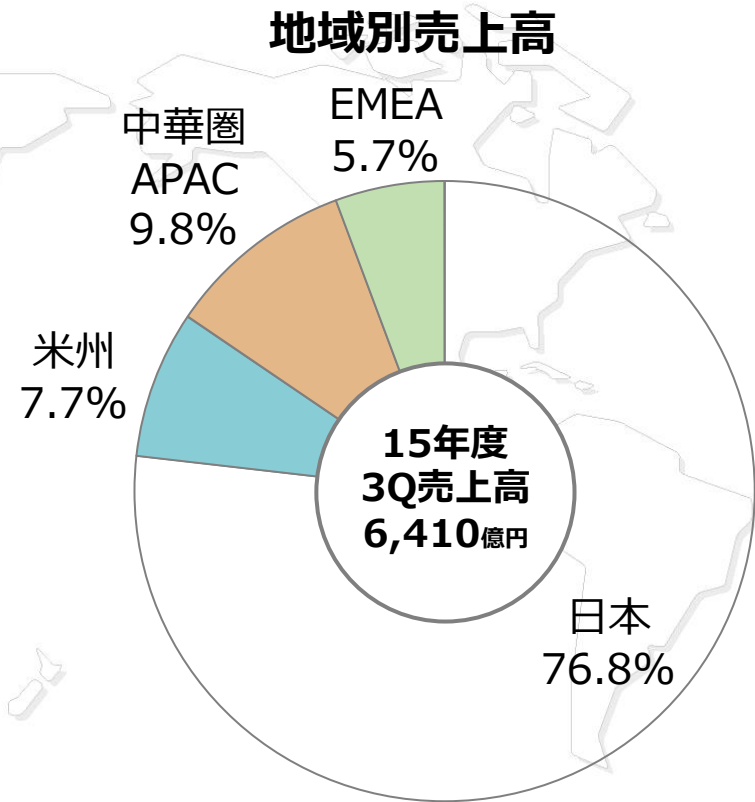
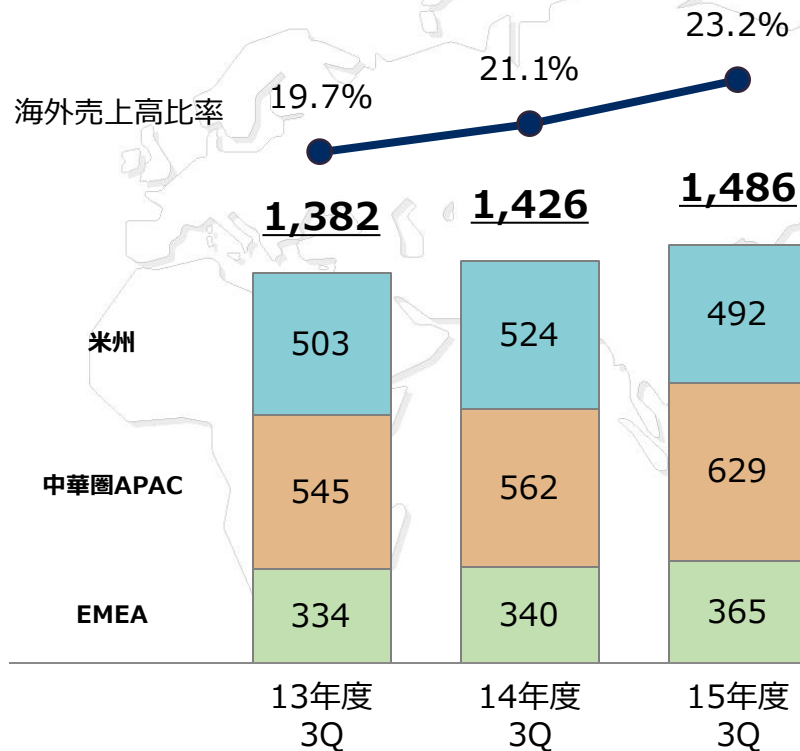
営業利益増減（前年同期比）

第3四半期
(3カ月)

(億円)



(億円)

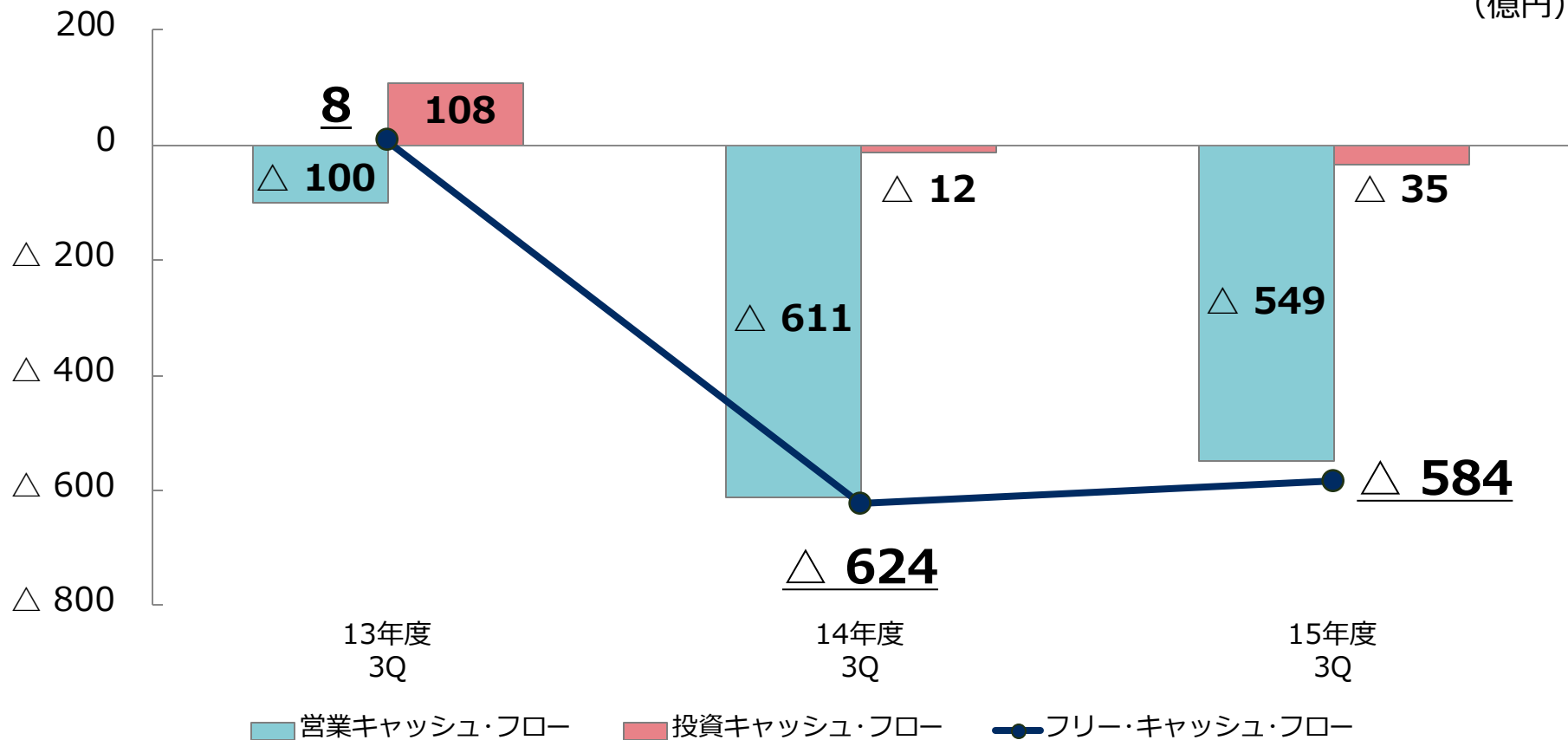


※ 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

フリー・キャッシュ・フローの状況

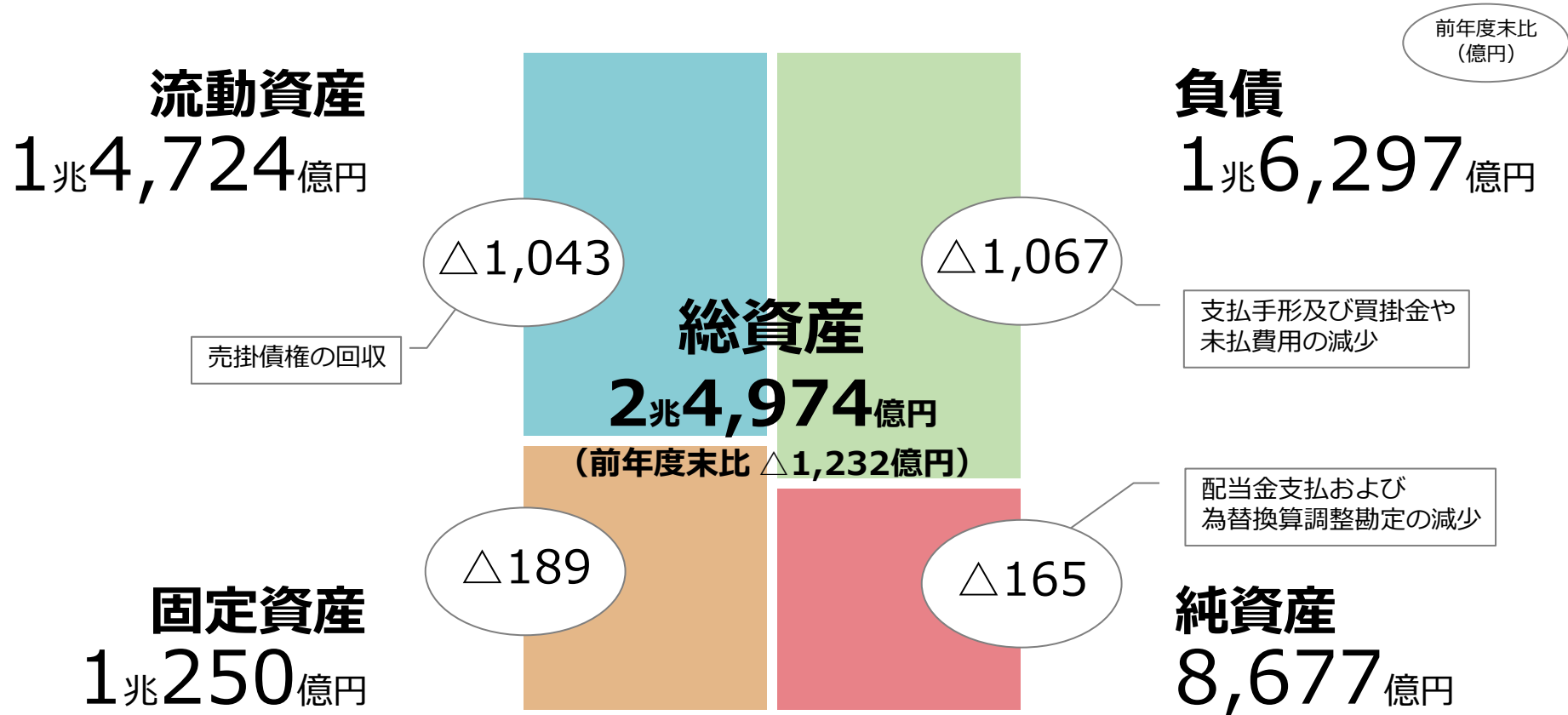
第3四半期
(3カ月)

(億円)



(億円)

	15/3末	15/12末	15/3末比	14/12末
総資産	26,207	24,974	△ 1,232	25,349
純資産	8,842	8,677	△ 165	7,830
有利子負債残高	5,208	5,742	+ 534	6,364
自己資本 自己資本比率 (%)	8,237 31.4%	8,072 32.3%	△ 164 + 0.9pt	7,220 28.5%
D / E レシオ (倍)	0.63	0.71	△ 0.08pt	0.88
ネット D / E レシオ (倍)	0.41	0.50	△ 0.09pt	0.63
現金及び現金同等物の期末残高	1,811	1,717	△ 94	1,805



前年度末比
(億円)

流動資産

1兆4,724億円

△1,043

売掛債権の回収

総資産

2兆4,974億円

(前年度末比 △1,232億円)

△189

固定資産

1兆250億円

△1,067

負債

1兆6,297億円

支払手形及び買掛金や
未払費用の減少

配当金支払および
為替換算調整勘定の減少

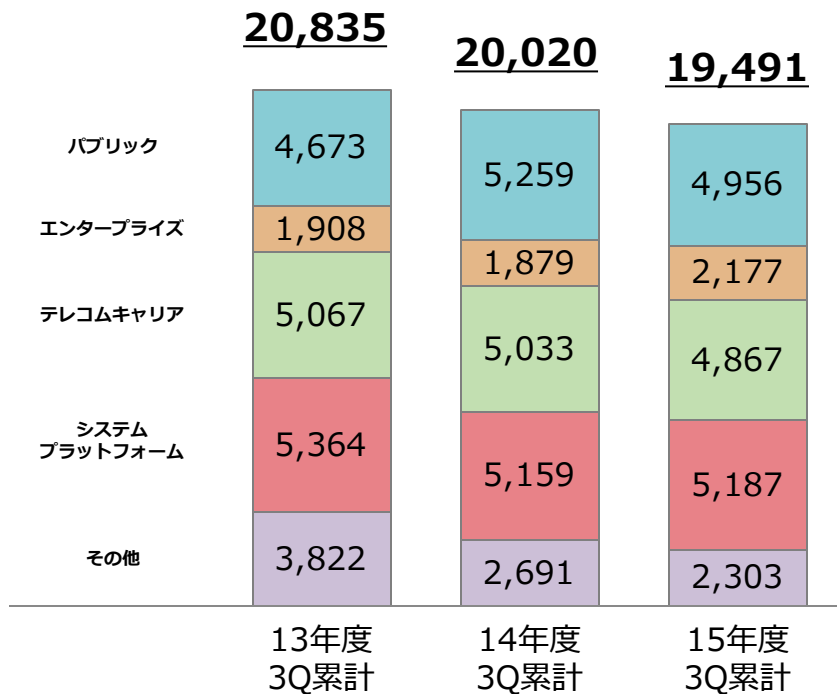
△165

純資産

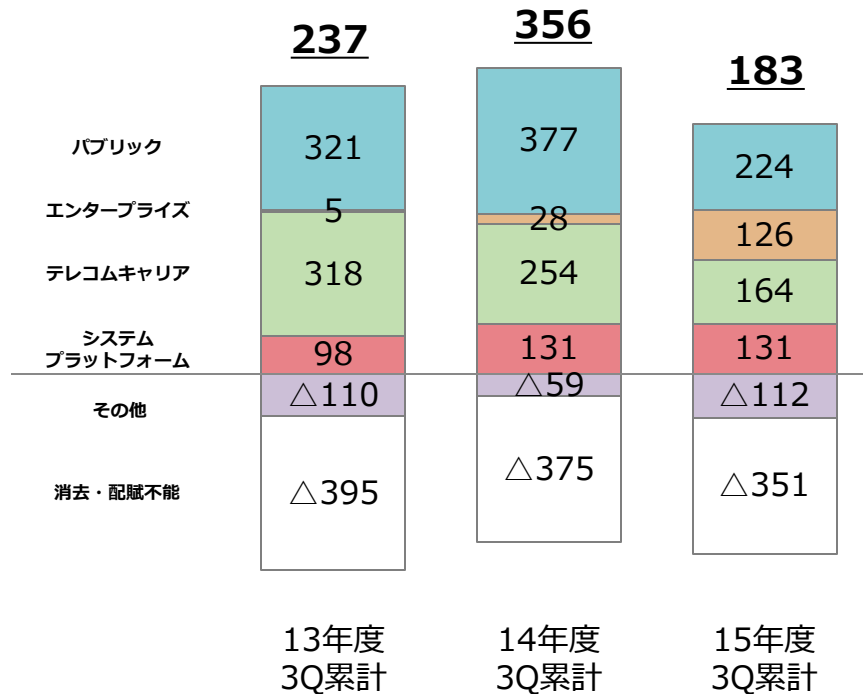
8,677億円

(億円)

売上高

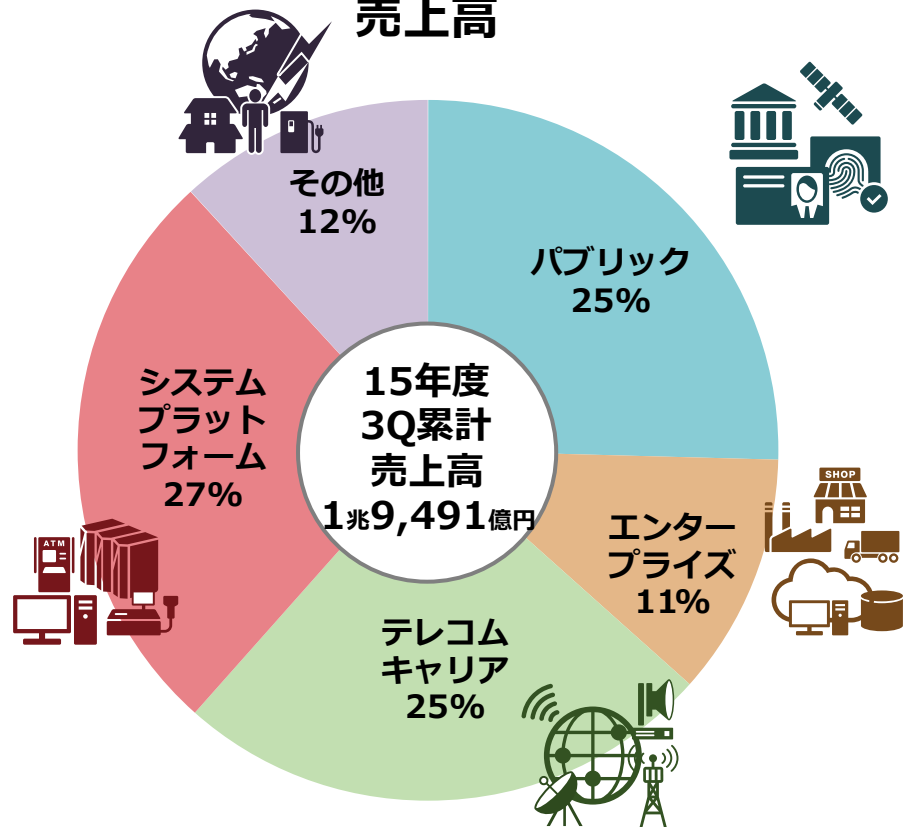


営業損益

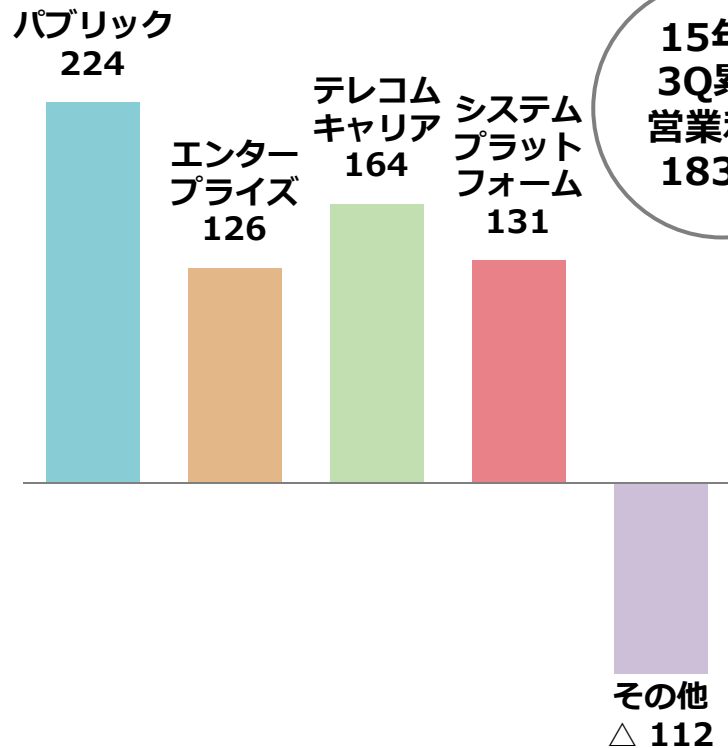


(億円)

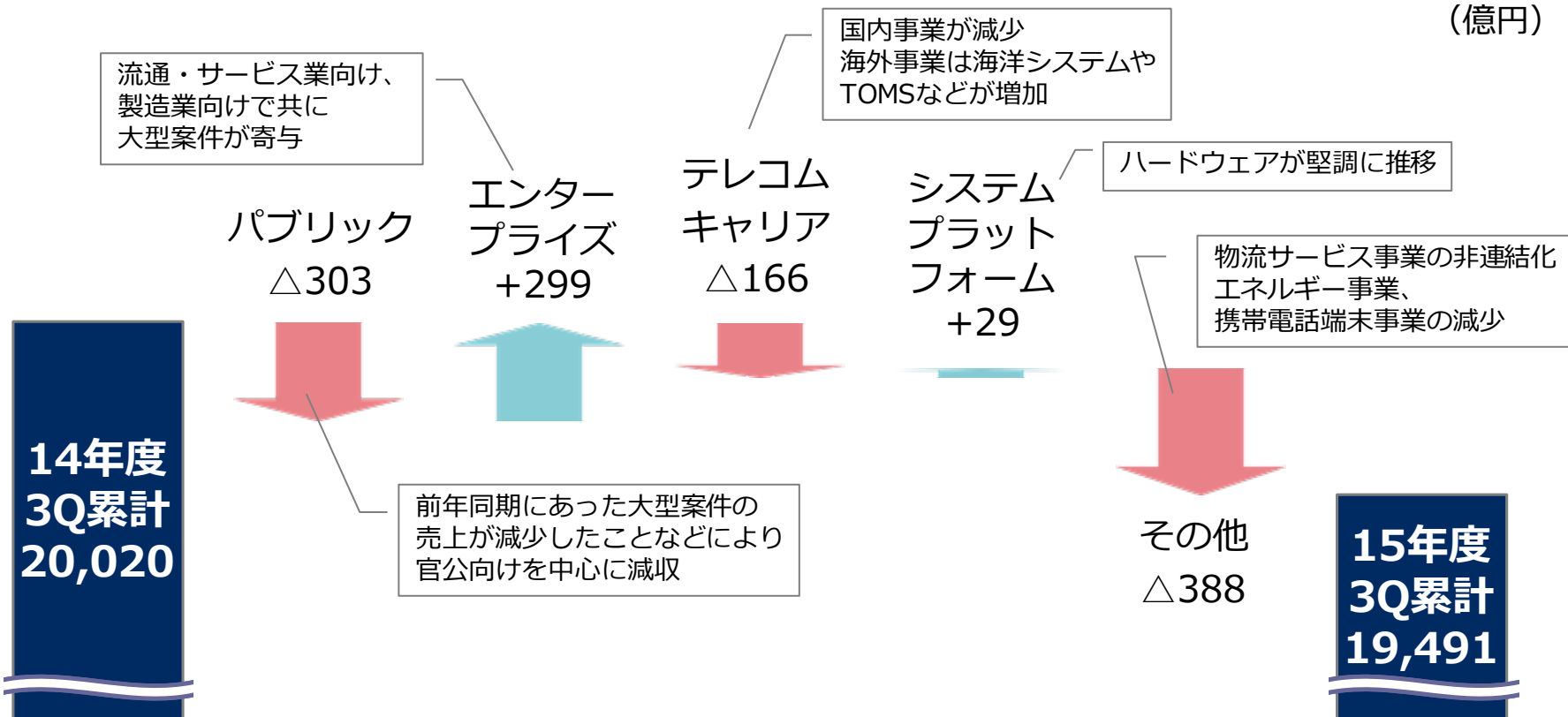
売上高



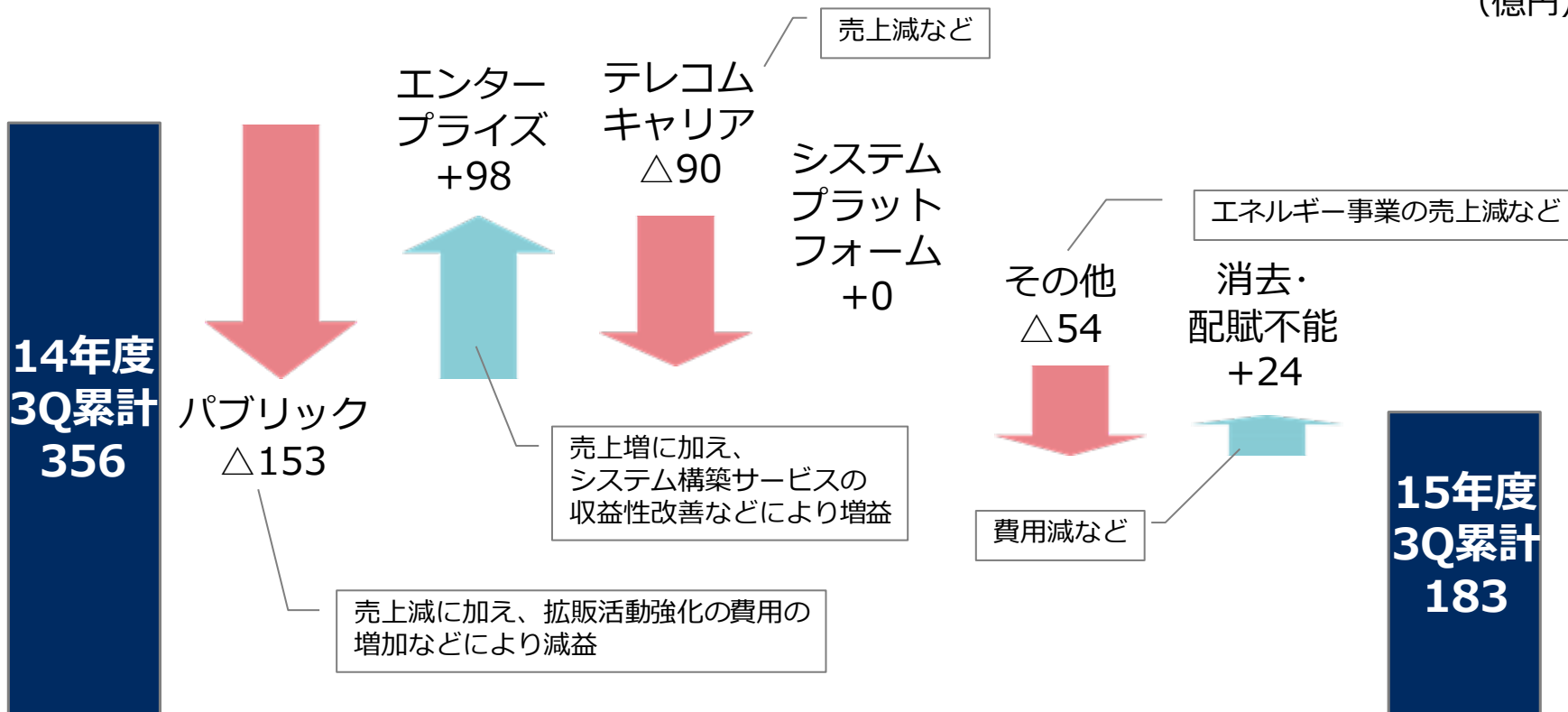
営業損益



(億円)



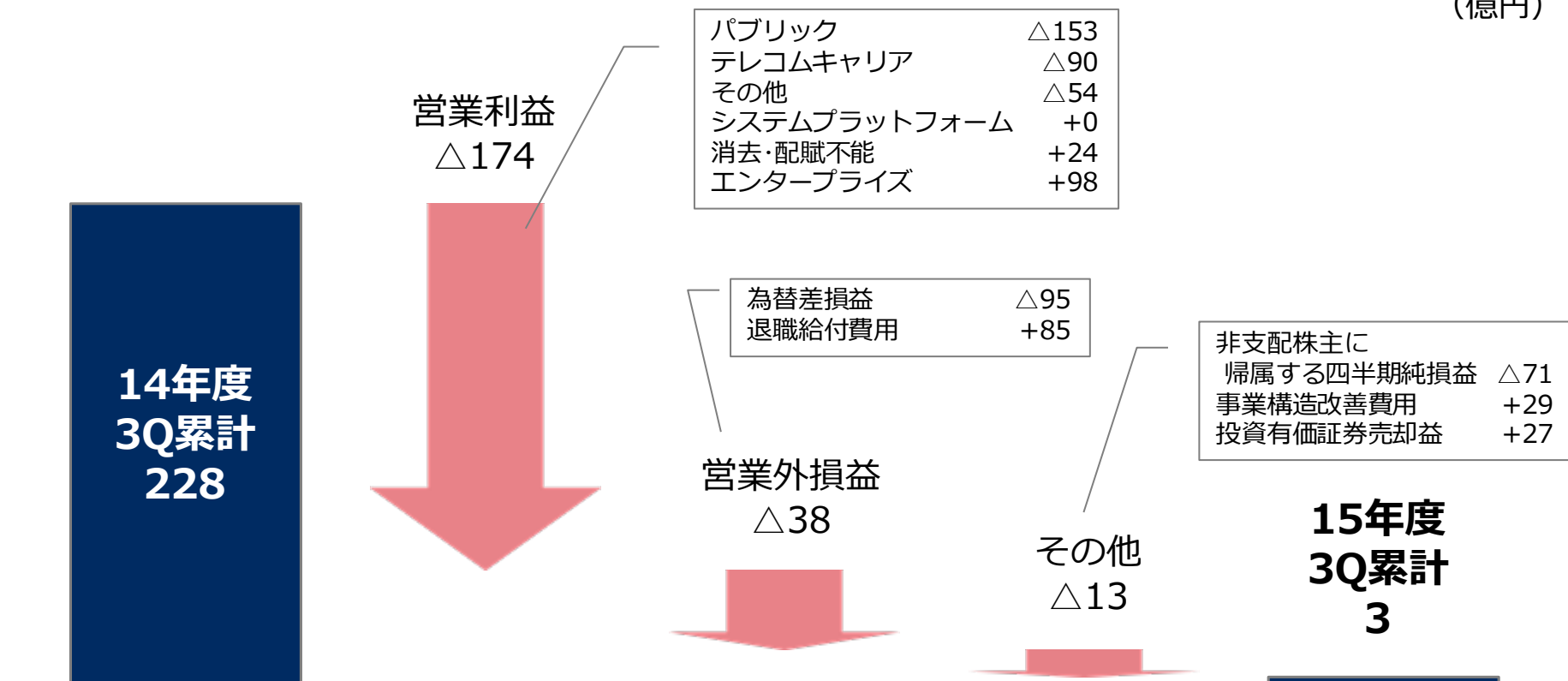
(億円)



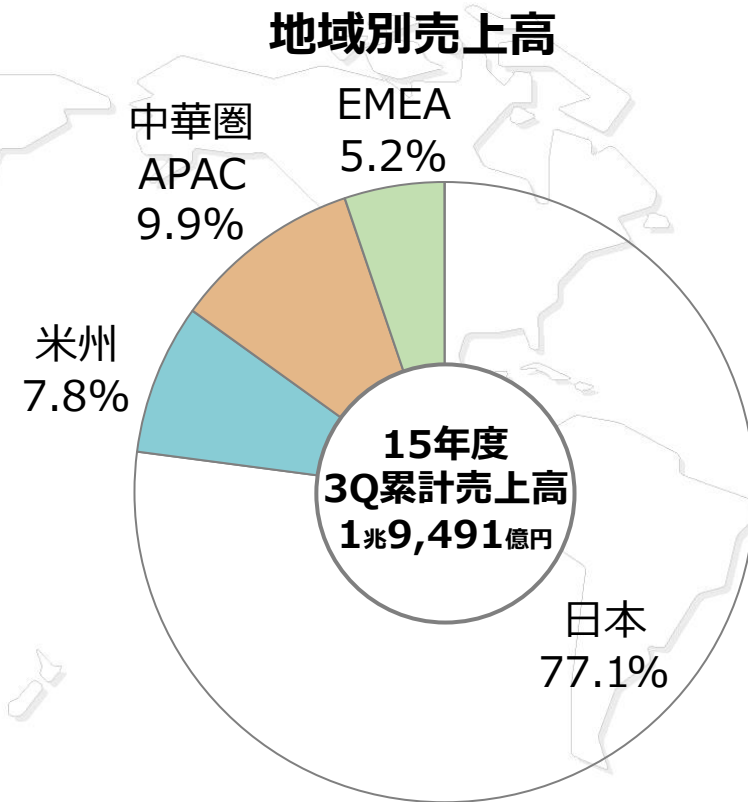
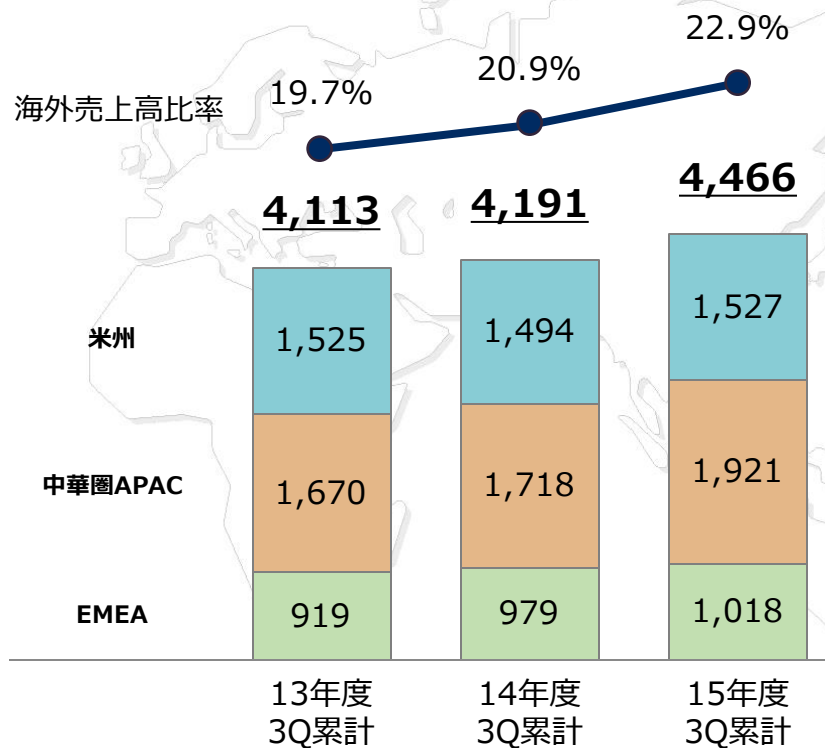
当期純利益増減（前年同期比）

第3四半期累計
(9カ月)

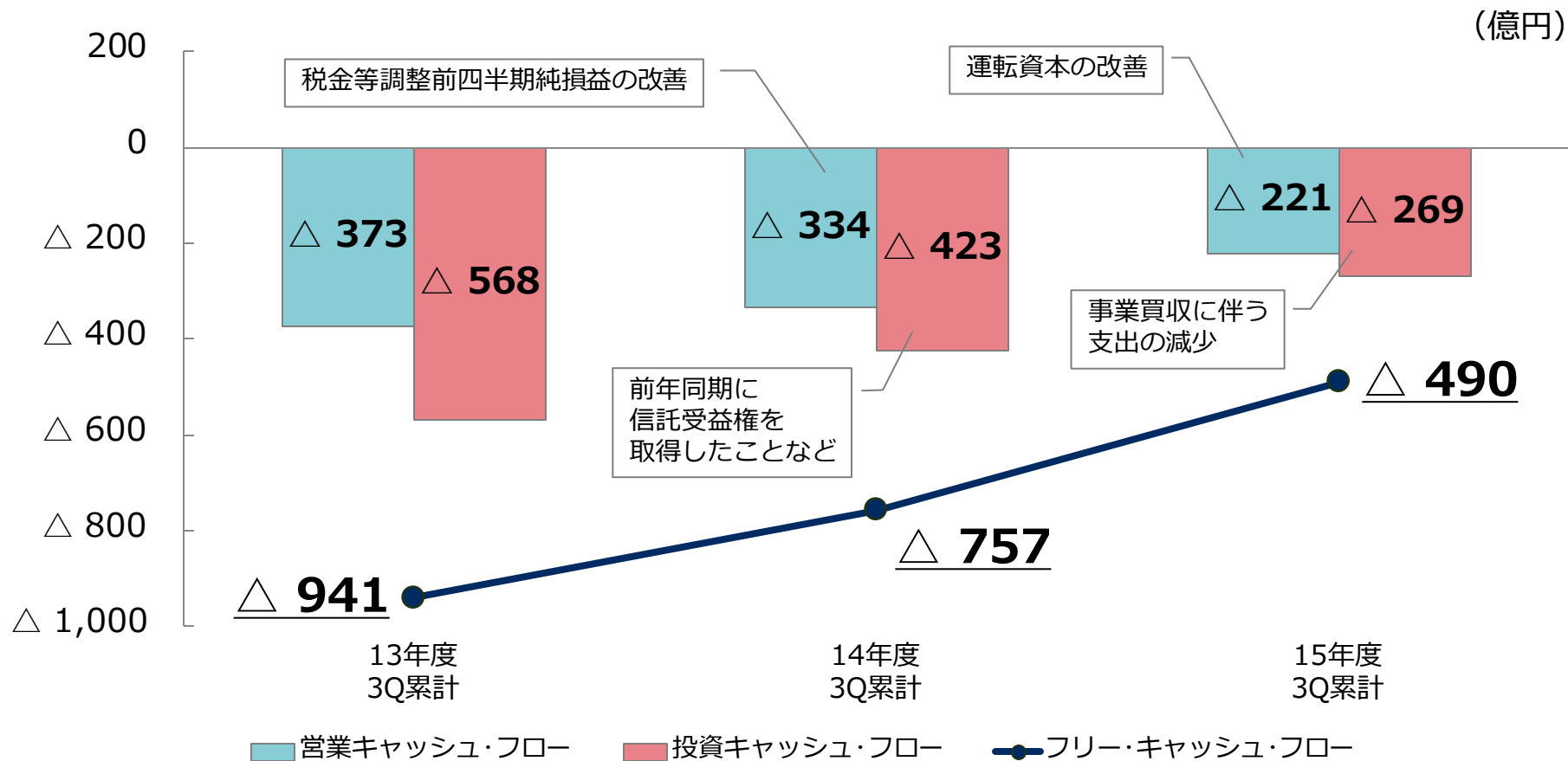
(億円)



(億円)



※ 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

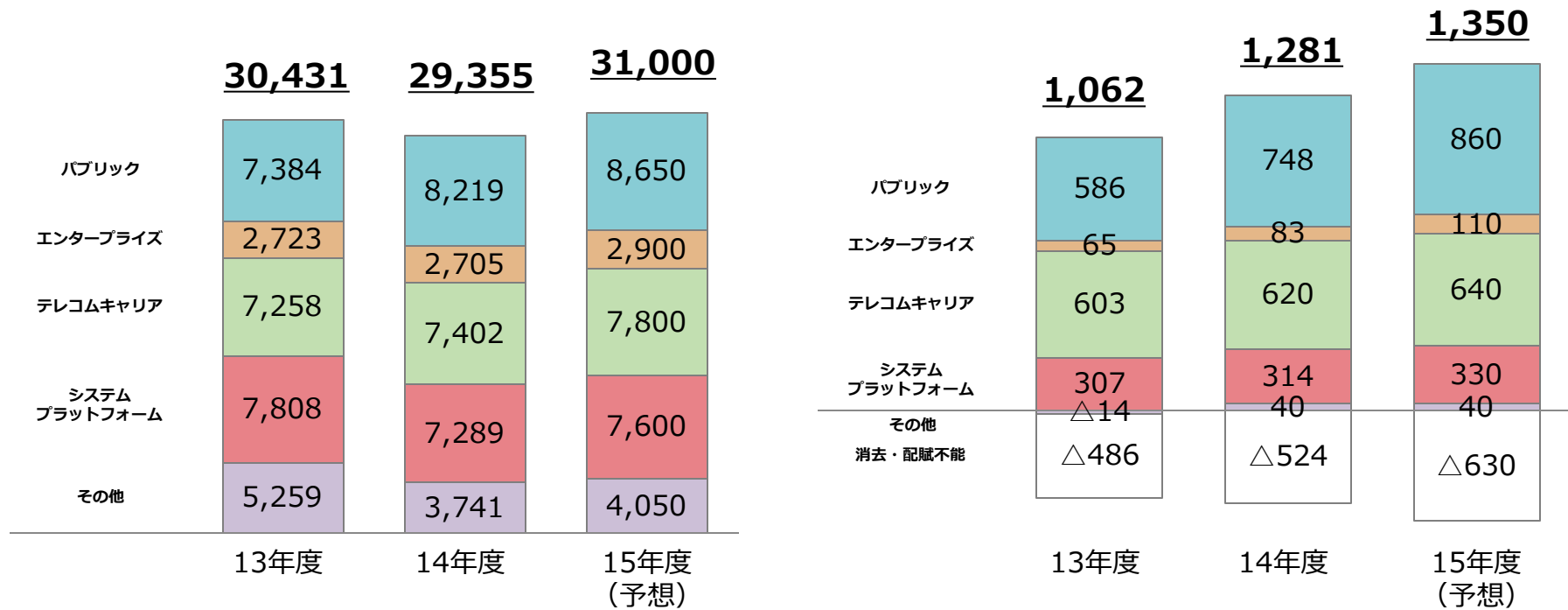


業績予想（補足）

(億円)

売上高

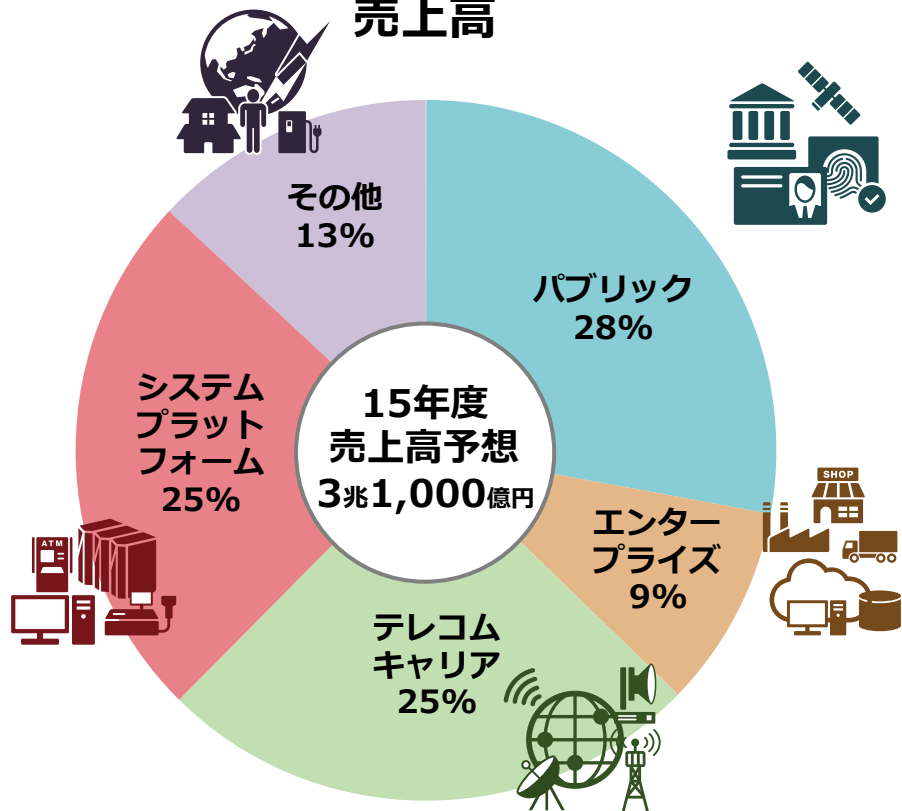
営業損益



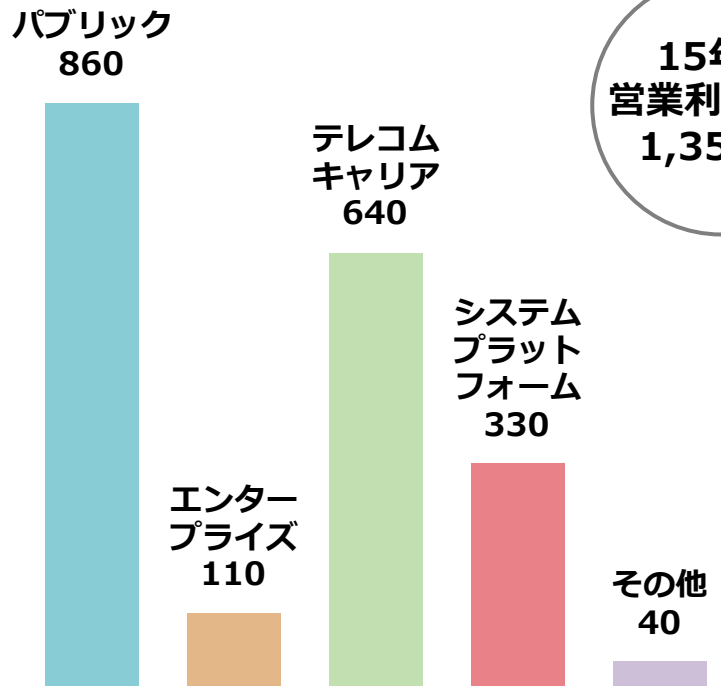
※ 予想値は、2016年1月28日現在

(億円)

売上高



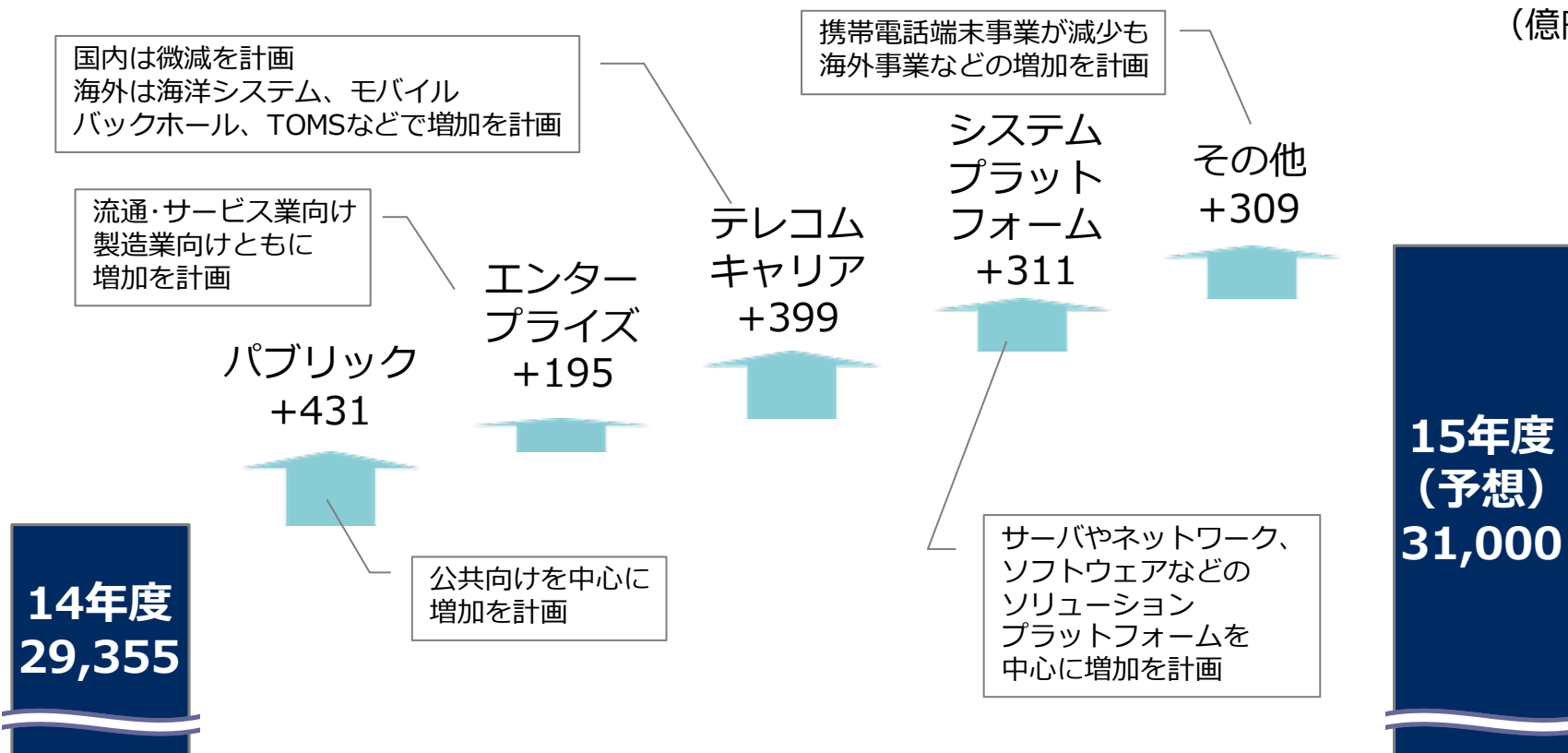
営業利益



15年度
営業利益予想
1,350億円

※ 予想値は、2016年1月28日現在

(億円)

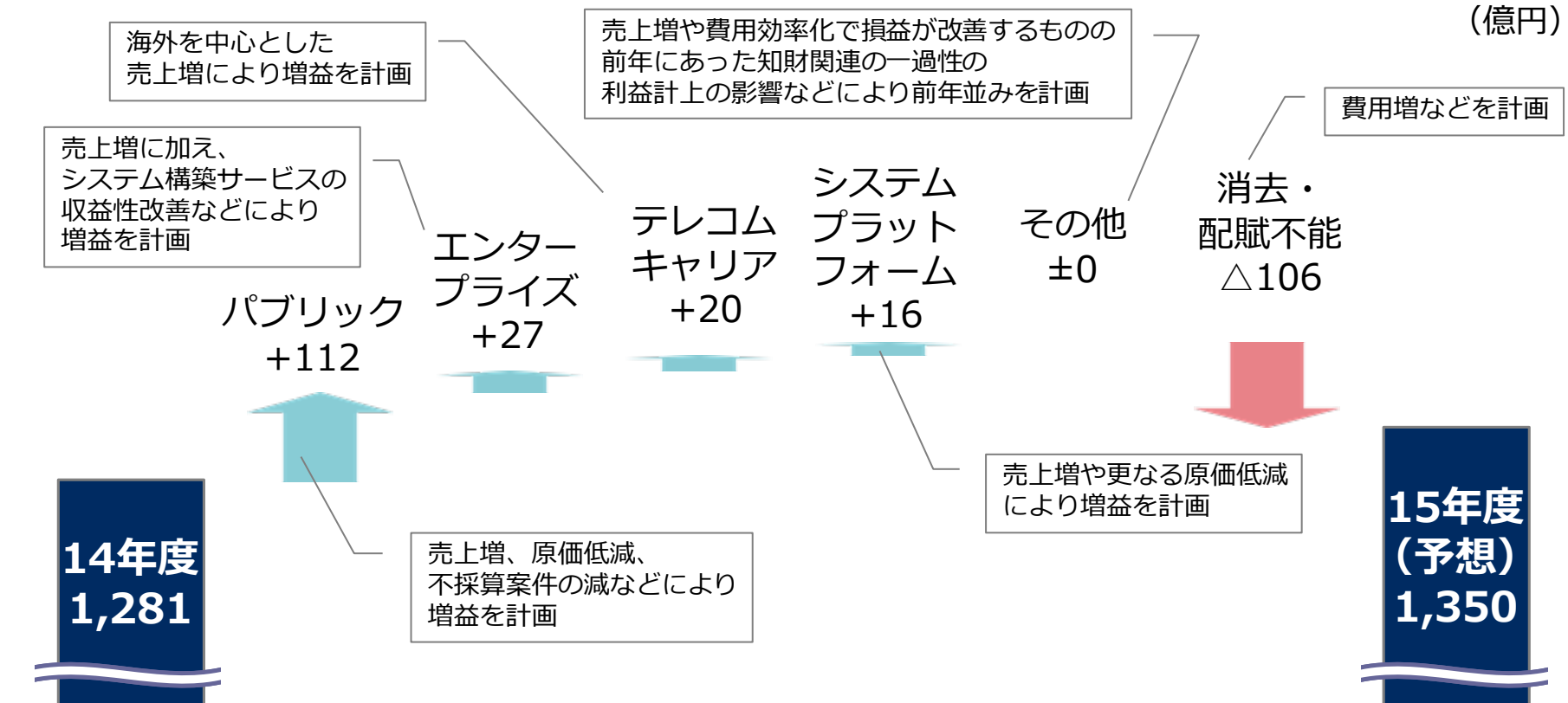


※ 予想値は、2016年1月28日現在

営業利益増減（前年度比）

通期予想

（億円）



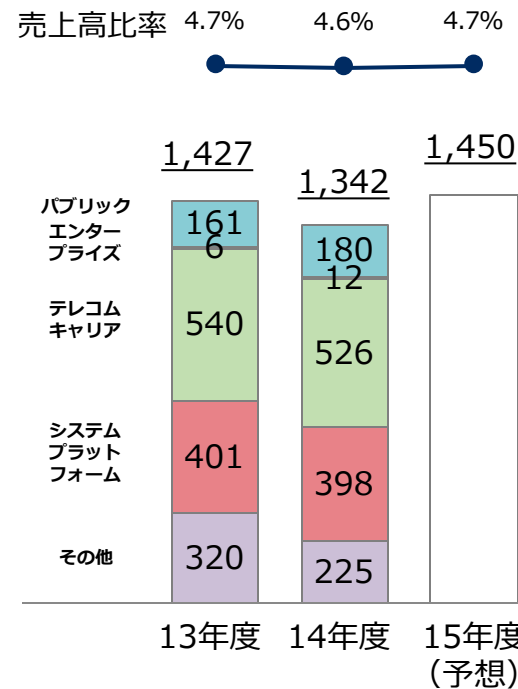
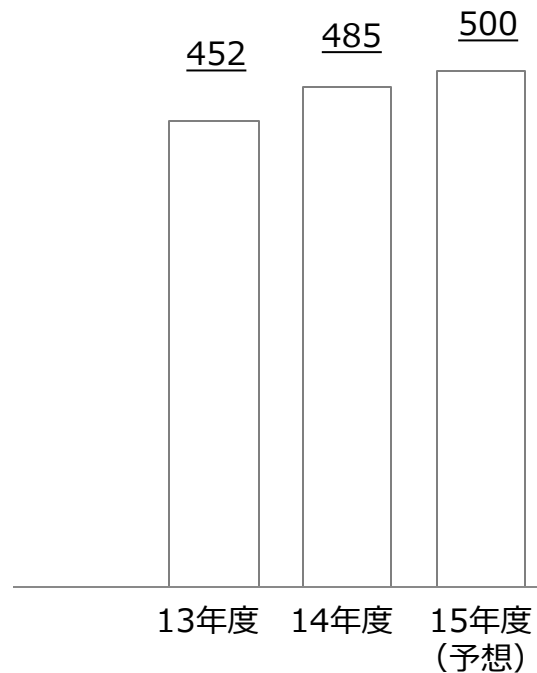
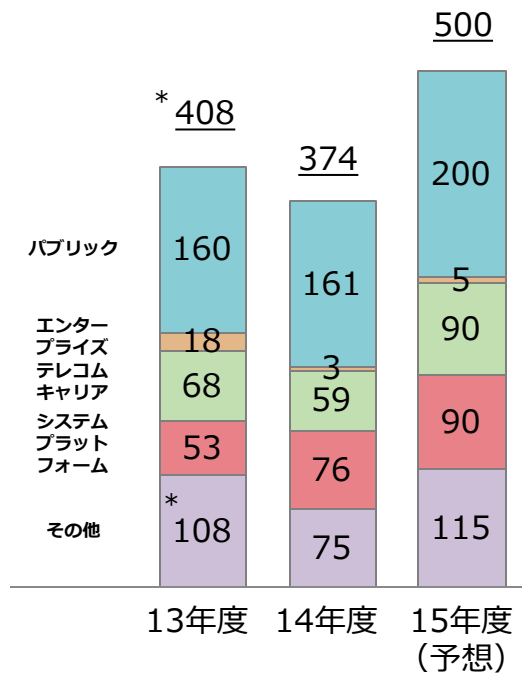
※ 予想値は、2016年1月28日現在

(億円)

設備投資額

減価償却費

研究開発費

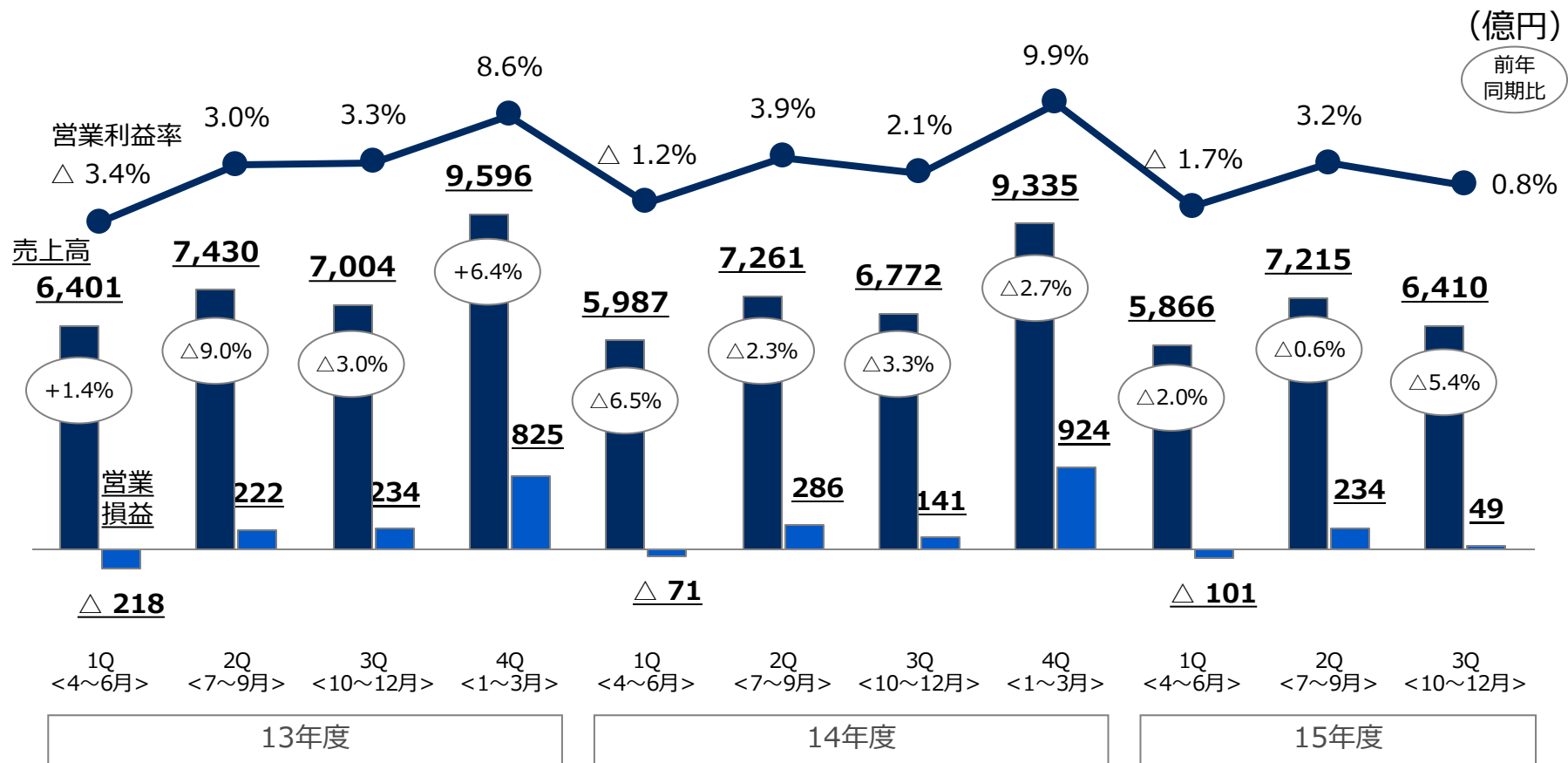


* 信託受益権の取得は含まず

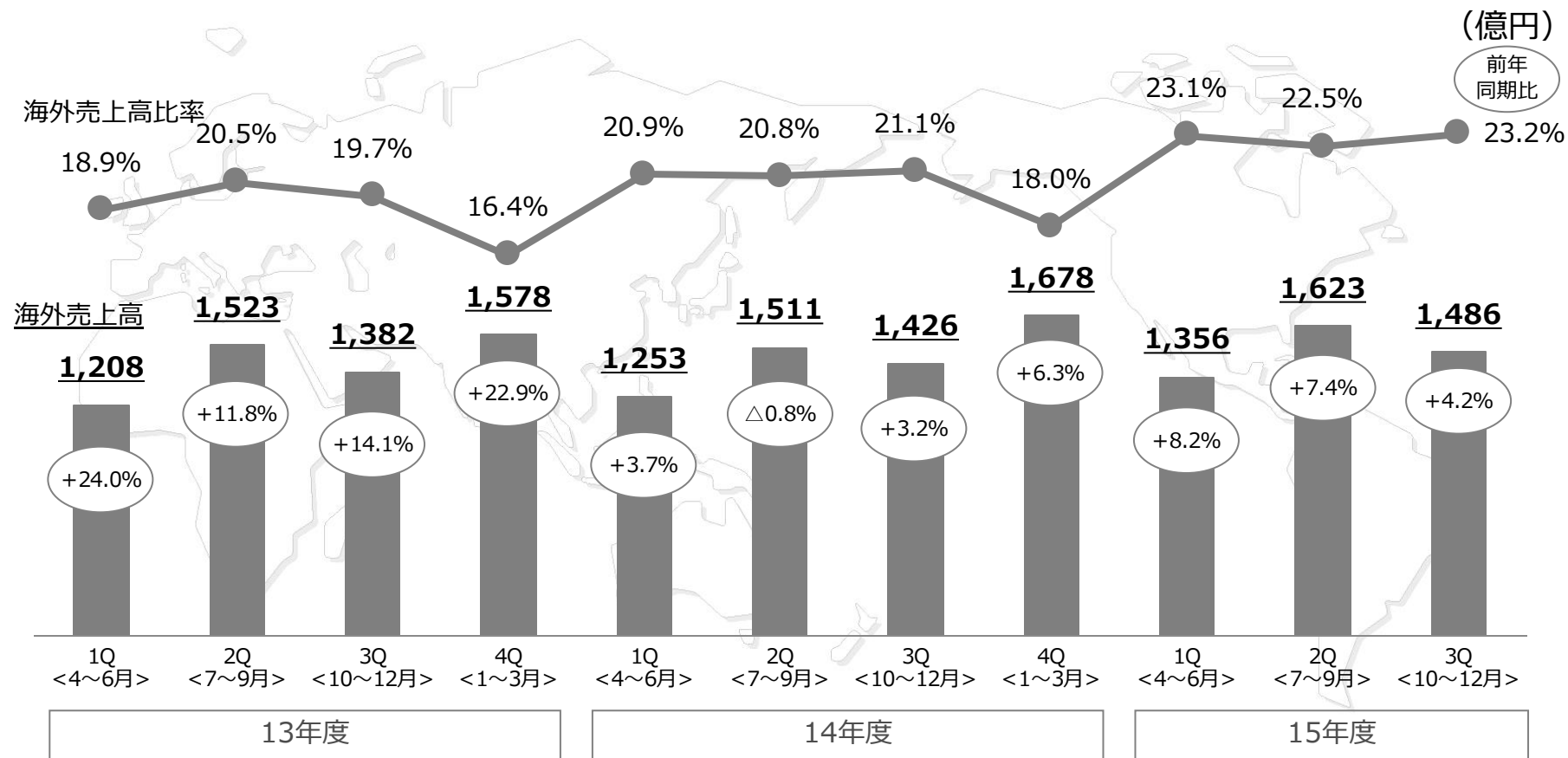
※ 予想値は、2016年1月28日現在

参考資料（業績データ）

全社売上高・営業損益推移



海外売上高推移

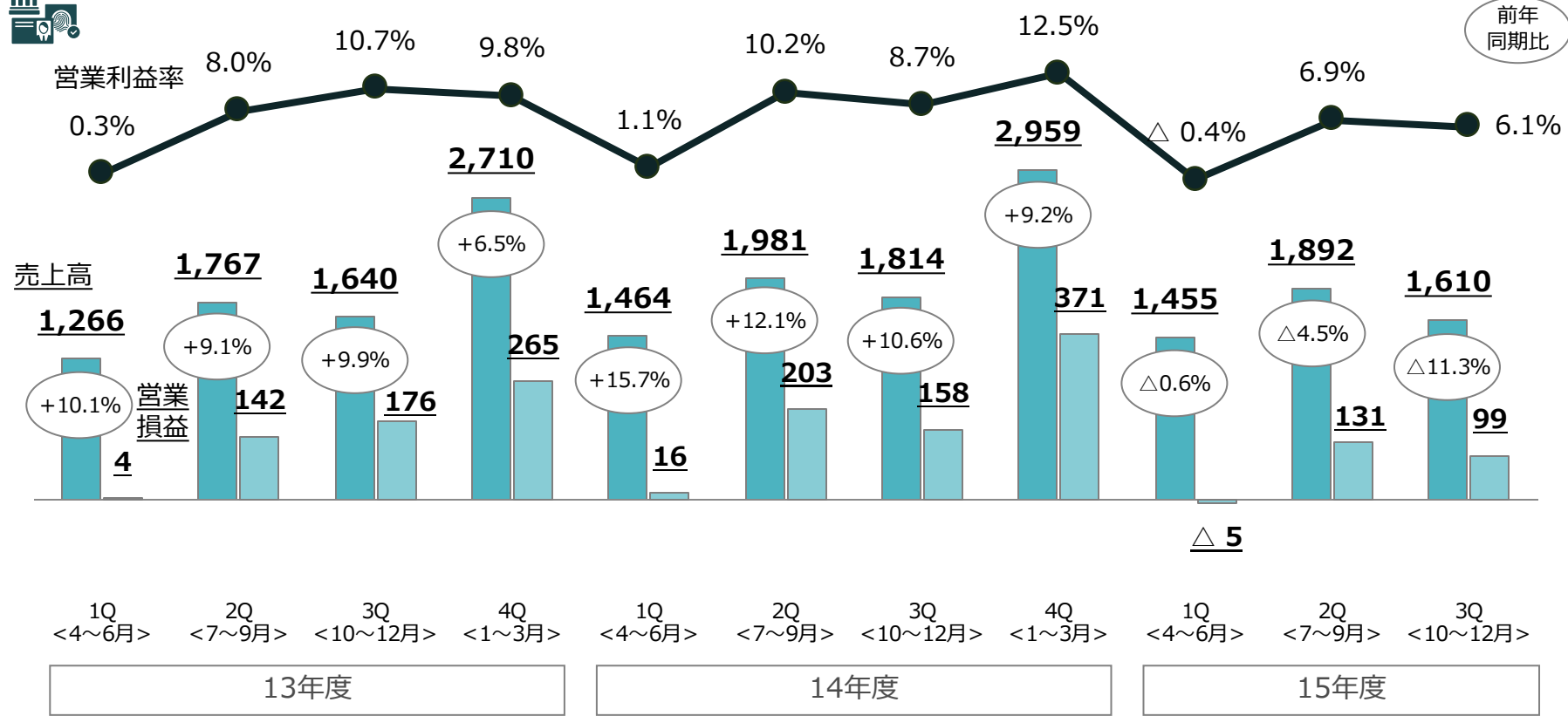


パブリック 売上高・営業損益推移

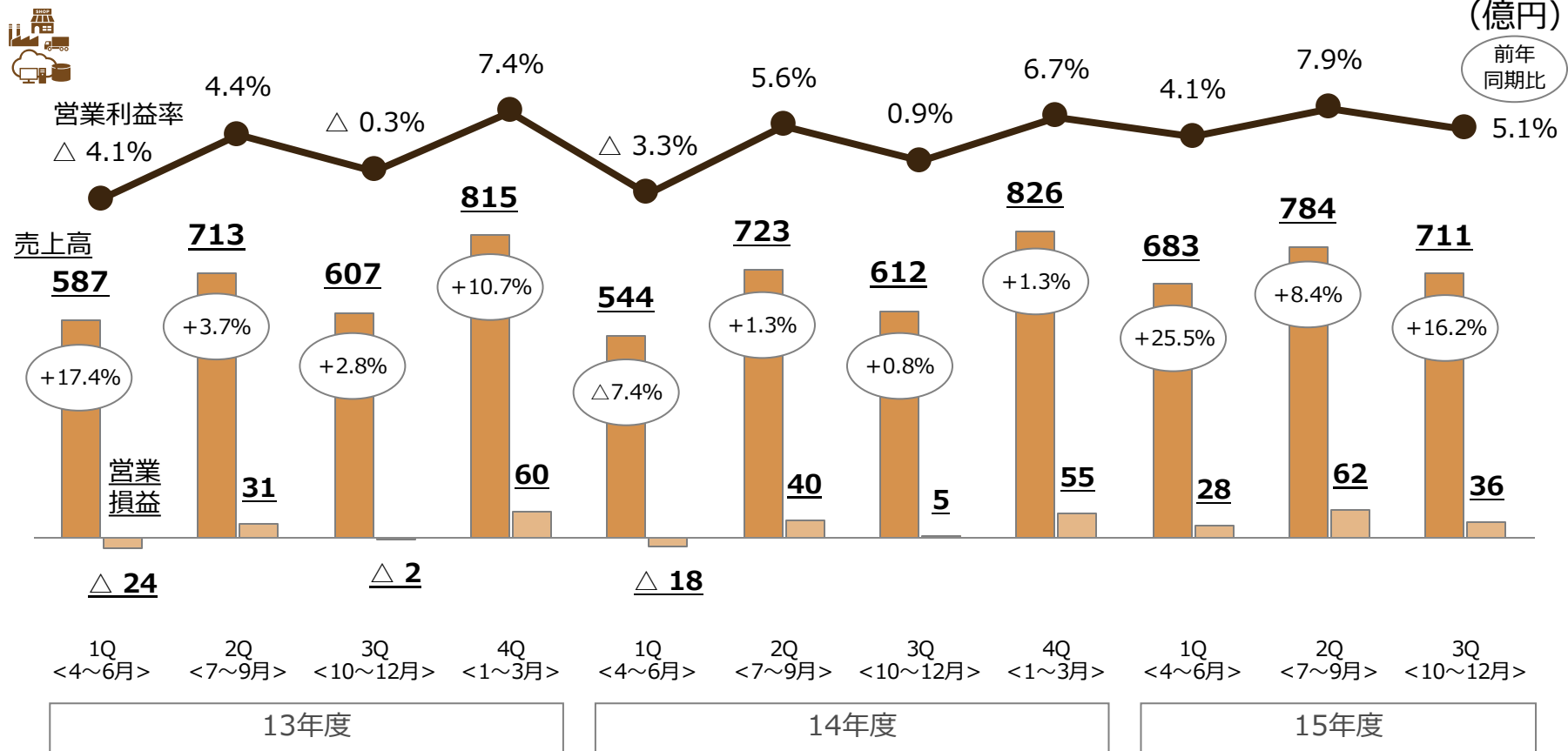


(億円)

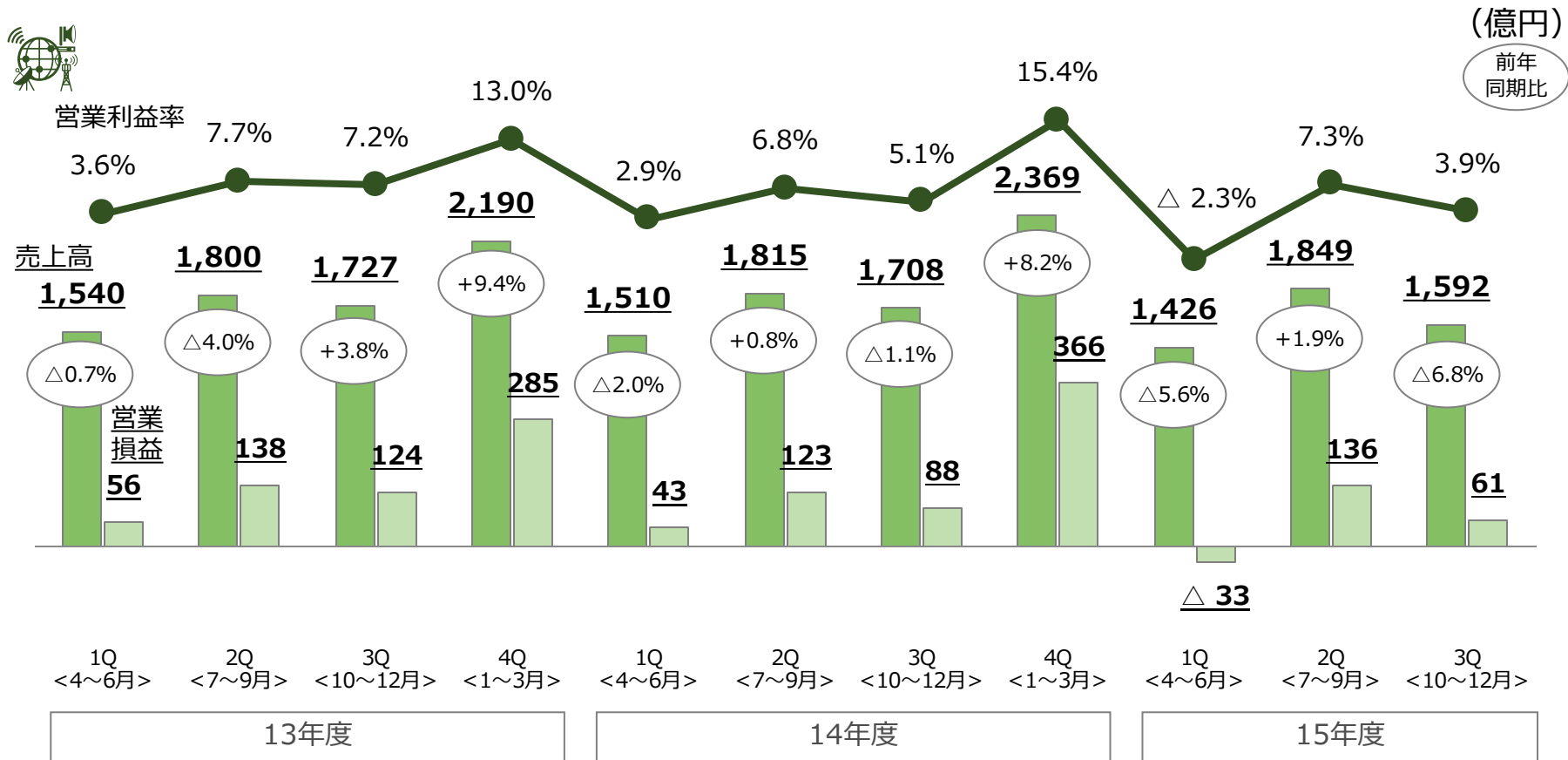
前年
同期比



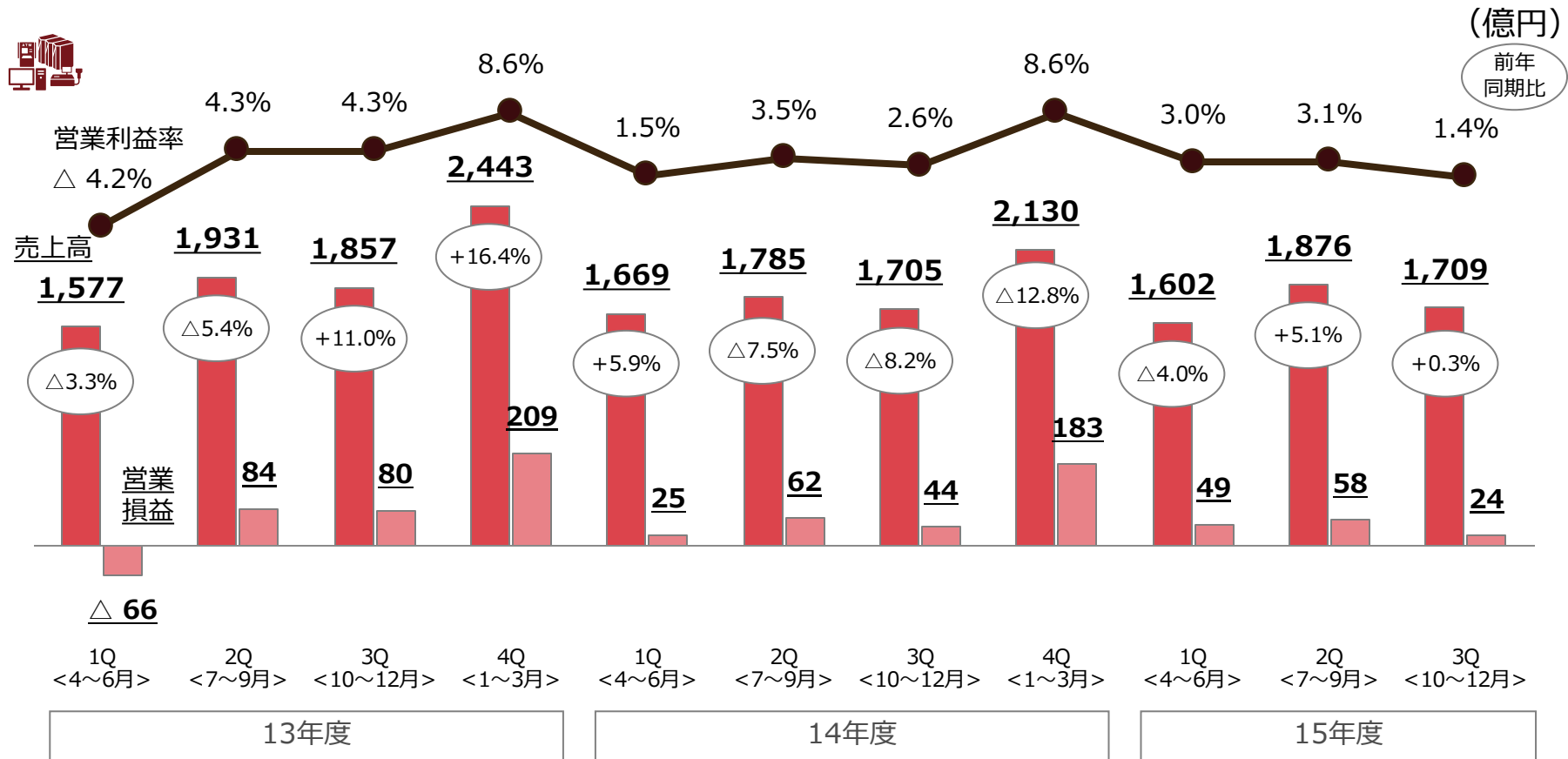
エンタープライズ 売上高・営業損益推移



テレコムキャリア 売上高・営業損益推移



システムプラットフォーム 売上高・営業損益推移

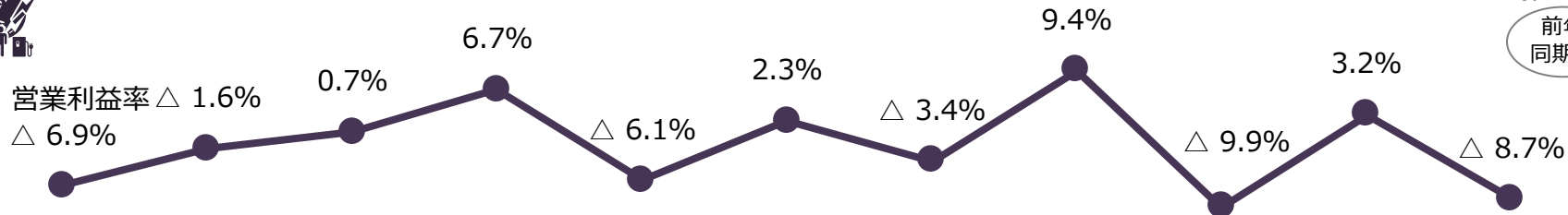


その他 売上高・営業損益推移

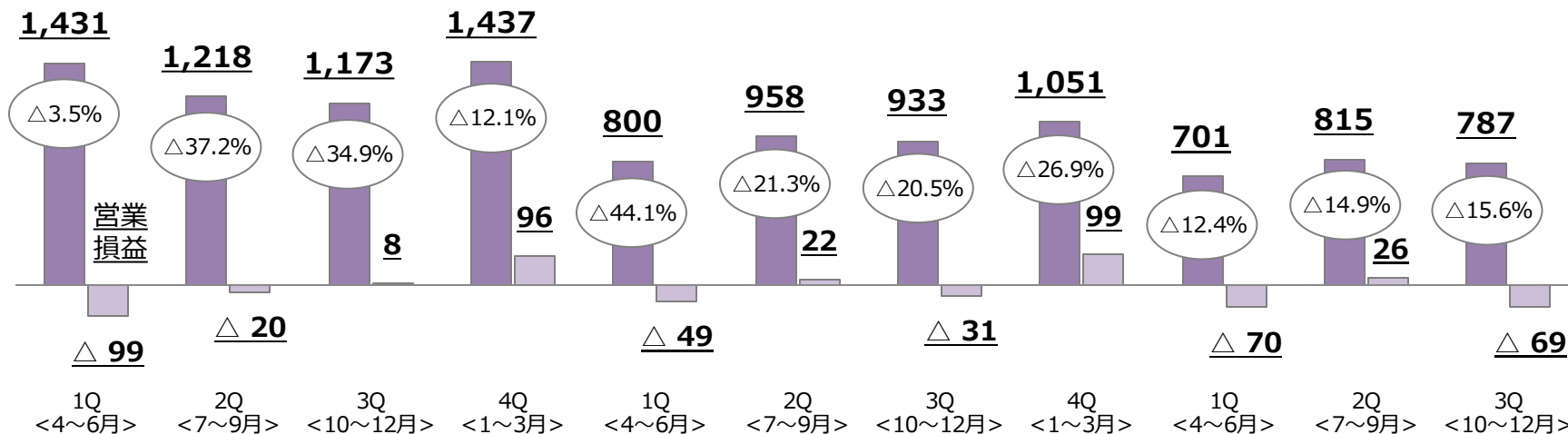


(億円)

前年
同期比



売上高

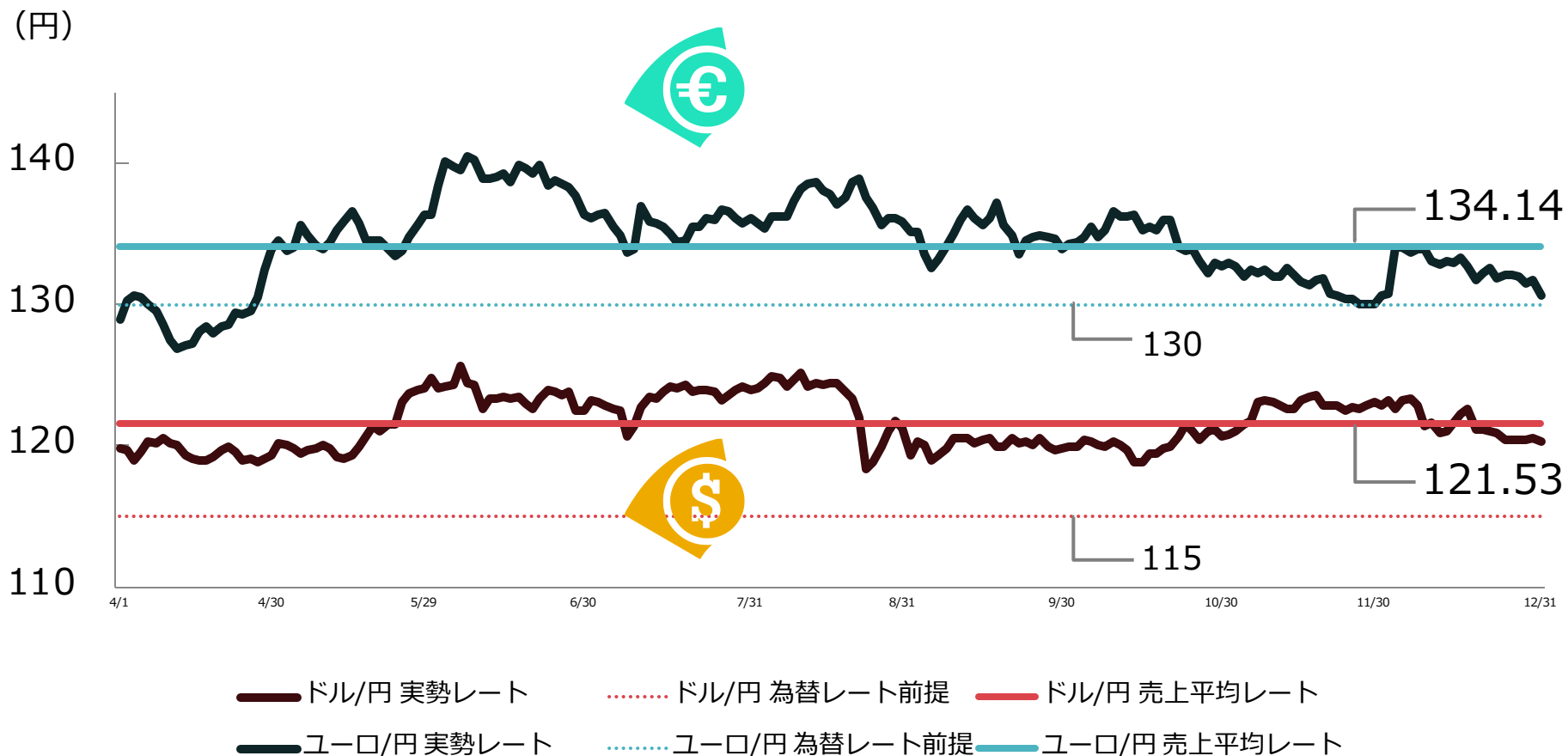


13年度

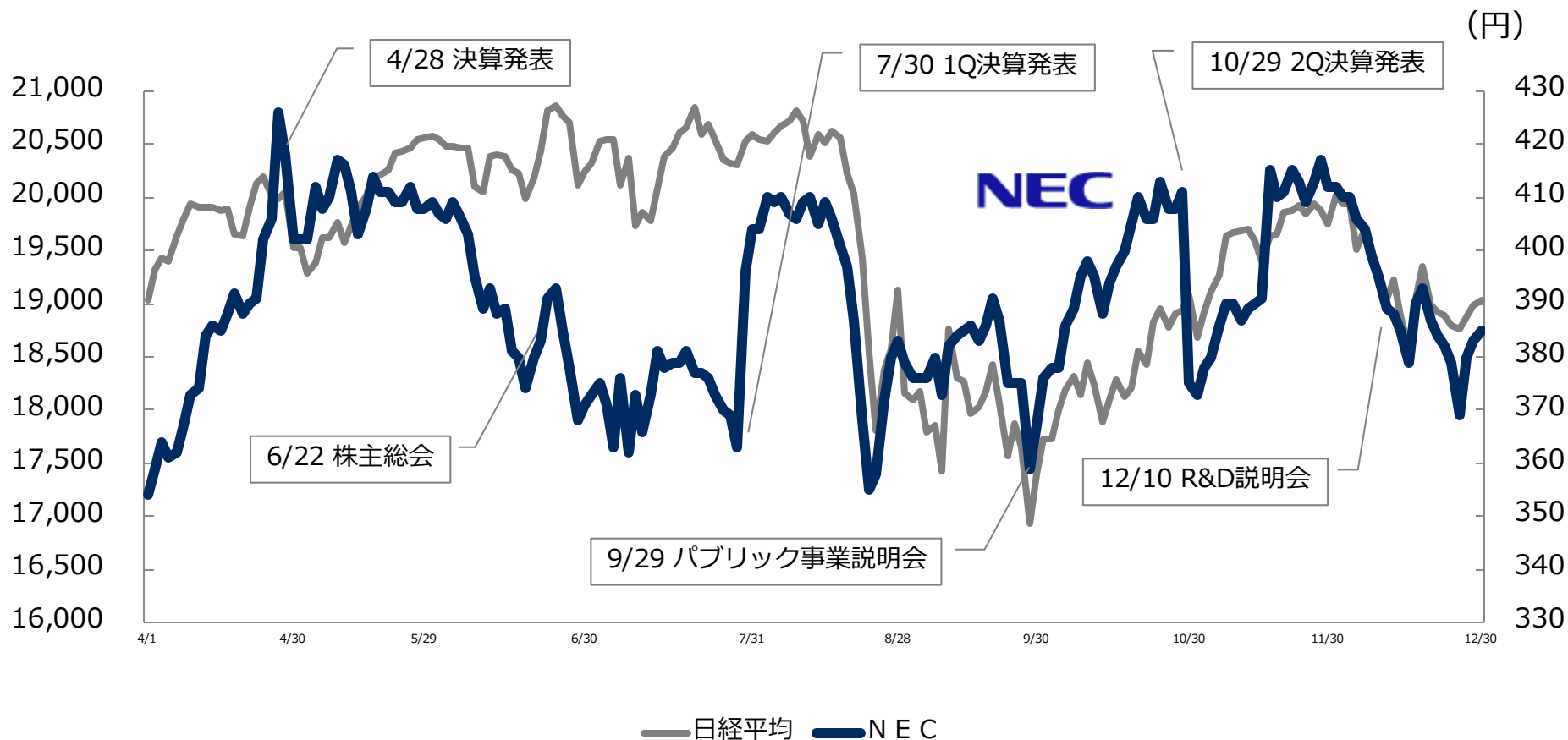
14年度

15年度

為替レートの変遷



株価の推移



<将来予想に関する注意>

本資料には日本電気株式会社および連結子会社（以下NECと総称します。）の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが金融商品取引所や関東財務局長等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー（safe-harbor）ルールに準拠しています。これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いいたします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご了承ください。実際の結果に影響を与える要因には、(1)NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、(2)市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、(4)NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、(5)NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、(6)市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、(7)為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動、(8)NECが保有する上場株式の減損をもたらす株価下落など、株式市場における好ましくない状況や動向、(9)NECに対する規制当局による措置や法的手続による影響等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようとする目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、有価証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、有価証券の募集または売出しを行うことはできません。

(注) 当社の連結財務諸表作成に関する会計基準は「日本基準」を採用しています。

年度表記について、13年度は2014年3月期、14年度は2015年3月期（以下同様）を表しています。